

製品保証書

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。本保証書は、本書記載の内容にて無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの年月日(納品日)から起算し、保証期間中に取扱説明書やラベル、その他注意書きに従った正常な使用状態で故障などの不具合が生じた場合は、本書、および、取扱説明書の「保証・アフターサービス」の記載内容に基づき、当社にて無償修理をさせていただきます。また、製品、保証書、取扱説明書を必ずご用意のうえ、弊社サポートセンター、またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

型 式	MP170D525 (出張修理 / 引取修理)		
製造番号			
お 客 様	お名前(フリガナ) 様		
	ご住所 〒		
	お電話		
保証期間	お買い上げ日	年 月 日から	本体 1 年 / 冷媒循環回路 3 年
ご販売店	印		

保証書に販売店の印が無い場合、ご購入を証明する書類(ご購入時に販売店から発行されるレシート、保証書、納品書)などと一緒に保管ください。ご購入を証明する書類がない場合は、すべて有償修理にて対応させていただきます。

 **SAKURA WORKS**
さくら製作所株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田2丁目27番3号
TEL.03-6431-8611 FAX.03-6431-8628 【平日 10:00～17:00 土日祝、および当社休業時を除く】



お客様へのお願い

1. 所定の事項が記入されていない場合、保証書は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。
2. 保証書に販売店の印が無い場合、ご購入を証明する書類(ご購入時に販売店から発行されるレシート、保証書、納品書)などと一緒に保管ください。
3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。
4. 製造番号は製品ラベルに記載されています。

◆保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス、および、その後のアフターサービスのために利用させていただく場合がございますので、ご了承願います。

出張修理について

保証期間中でも離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費も申し受けます。詳細につきましては、修理相談窓口にお問い合わせください。

出張料について

修理のお見積り取得後、または何らかの症状での確認等で出張修理、あるいは点検をご依頼され、修理に至らなかった場合もしくは、製品が正常範囲内であった場合でも、見積料金及び、出張料金は保証期間に関わらず申し受けます。

保証規定

サービスのご利用規約はこちらから ▶▶▶



保証規定は、保証書および、本取扱説明書の保証・アフターサービスに記載されている内容に準拠いたします。いずれにも記載されていない内容は保証対象外となります。

また、本書は、取扱説明書などの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合、保証規定の記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、本書はワインの補償など、製品故障以外の一切の責を保証するものではありません。
また、離島および、これに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。

保証期間内でも次のような場合は、有償修理または有償点検となります。

1. 本書、または販売店購入時に受領される保証書がない場合。
2. 製品のご購入を証明するレシートなどの証明書がなく、本書にも所定事項の記載がない場合。
3. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句を書き換えられた、または記載内容の事実と異なる場合。
4. 所有者の変更が当社の製品番号履歴等のデータより判明した場合。(新品や中古品購入など)
5. 棚、鍵、パッキン、LED、脚など。(ただし、材質上、製造上の瑕疵は含みません)
6. 表面的な損傷の場合。(傷、へこみ、汚れなど)
7. 一般家庭以外(例えば、店舗、レストランなどの業務用途)で使用された場合の故障または損傷。
8. 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障、損傷。
9. お買い上げ後の転倒や外部からの衝撃などによる故障、破損。
10. 火災・公害・異常電圧・定格外の使用電源(電圧、周波数)、および、地震・雷・風水害・ガス害(硫化ガスなど)・塩害その他天災地変など、外部に原がある故障・損傷。(例えば、落雷後の制御異常など)
11. 車輛・船舶に搭載された場合に生じる故障・損傷。
12. お客様にて準備された温度計と庫内表示温度に差があり、点検の結果、通常動作と判断された場合。その他、異常冷却との申告の結果、通常冷却と判断された場合。
13. 消耗部品(パッキン、LEDなど)の交換及び仕様変更。(外部指定部品の取付、改造など)
14. 本書に記載されていない内容に関するもの。

- 故障の状況やその他事情により、修理に代えて製品を交換する場合があります。
- 修理に際しては、再生部品や代替部品を使用する場合があります。
- 修理時に交換した部品は弊社が任意に回収の上、適切に処理、処分させていただきます。

本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

本書の再発行はいたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

内容物やその他製品以外の補償はいたしません。



SAKURA WORKS

さくら製作所株式会社

取扱説明書(保証書付)

家庭用ワインセラー

品 番 ワイン170本タイプ MP170D525-RH-B(ブラック/右開き)
MP170D525-LH-B(ブラック/左開き)

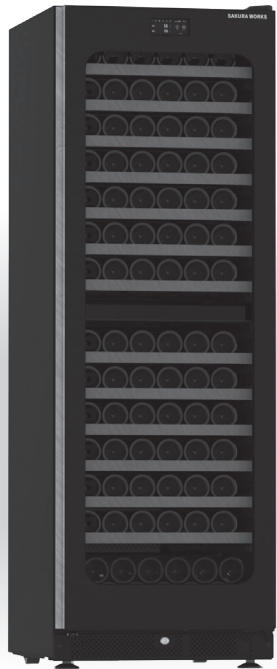


SAKURA WORKS

開梱時、使用・設置前に必ず本書をすべてお読みください。

本製品は、重厚なガラス扉により、前面に荷重がかかりやすい製品です。製品の設置時は必ず「設置・据え付け方法」に記載の内容を遵守の上、設置してください。

ご使用に際して発生した不具合などがあった場合には速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。製品の保証書および、保証規定に基づいて対応することをお約束いたします。必ず保証規定をよくお読みになり、ご理解いただいた上でご使用ください。



MP170D525-RH-B

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しいご使用をお願いします。
- 特に「安全上のご注意」や「保証規定」は、必ずお読みいただいてからご使用をお願いします。
- 「保証書」は、販売店から発行される「お買い上げ日・販売店名」などが確かめられる書類と必ず一緒に保管ください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 本製品には別途保証規定を記載しています。保証規定をよくお読みの上、正しくお使いください。保証期間内であっても、保証規定外の項目はすべて有償での修理対応となります。
- 型式が異なっても、使いかたが同じものは一つの画像、イラストで説明しています。
- イラストはこの取扱説明書のために加工しています。実際の製品は異なる場合があります。

国内 AC100V専用

※海外での使用はできません。故障の原因となります。

※海外でのアフターサービスもできません。

FOR USE IN JAPAN ONLY

This appliance is designed for used in Japan only and cannot be used in any other country.

No maintenance servicing in available outside of Japan.



SAKURA WORKS

さくら製作所株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田2丁目27番3号

TEL.03-6431-8611 FAX.03-6431-8628 【平日 10:00～17:00 土日祝、および当社休業時を除く】

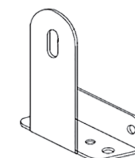
目次	ページ
パッケージ内容	2
扉の取り扱いについて	3
安全上の注意	5
設置・据え付け方法	7
◆設置・ご使用前に	8
◆転倒防止ブラケット	9
◆運搬用取っ手	10
◆移動・運搬するとき	10
◆排水皿に溜まった水を抜く	10
各部の名称	11
使いかた	12
◆保存温度参考表	12
◆温度制御のイメージ図	12
◆お勤めのワイン熟成方法	13
◆温度表示の説明	13
◆タッチパネルのメイン画面の説明、機能説明と各操作方法	14
◆温度の設定	14
◆冷却運転表示と加熱運転表示	14
◆ライトの設定	15
◆運転モードの設定	15
◆電源ON／OFF	15
◆タッチパネルのロック／解除	15
◆温度単位の切り替え	16
◆時刻の設定	16
◆言語の設定	16
◆初期化	16
◆エラー表示	16
◆保管のしかた	17
◆保管時の注意	17
◆ワイン収納棚(ソフトクローズ機構)について	17
◆棚の取り付け方・取り外し方	17
◆ボトルクレードルの取り付けと使い方	18
◆ワインボトルの収納方法	19
使いかたのコツ	23
お手入れについて	25
こんなときには	26
よくある症状	27
故障かな?と思ったら	30
保証規定・アフターサービスについて	33
仕様一覧	36
サポートセンターのご案内	37
保証書	裏表紙

パッケージ内容

本体 1台 ※お買い上げいただいた型式によって異なります。

鍵 2本

転倒防止用ブラケット一式 2セット



※部品の詳しい内訳や取り付け方法については、9ページをご参照ください。

MP170D525-RH-B



ボトルクレードル

◆ ボトルクレードル 156個
ワインボトルを安定して保持するための専用台座です。棚Aおよび棚Bのフレームにはめ込んでご使用ください。



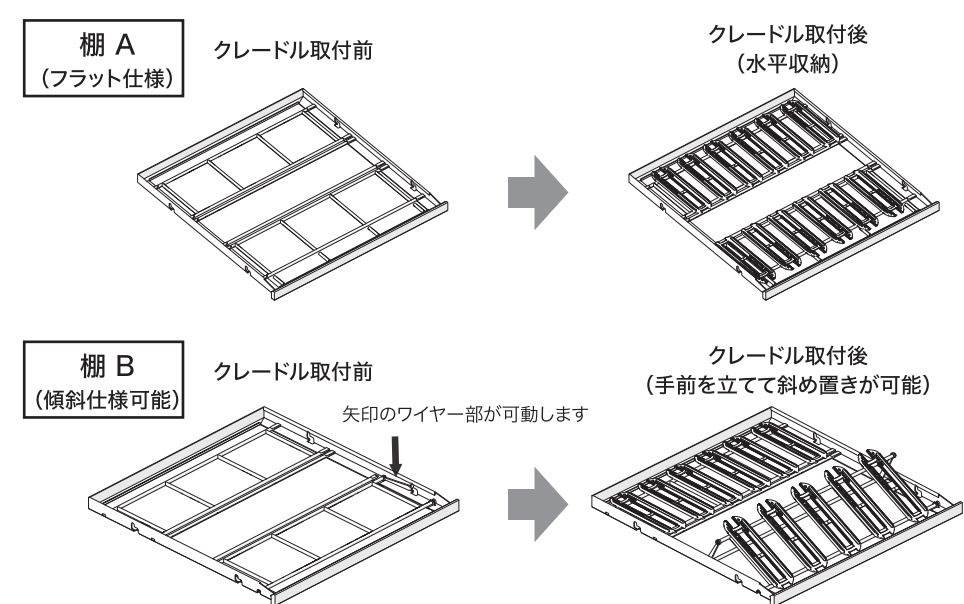
棚

棚(2種類)
本製品には仕様の異なる2種類の棚が付属しています。ボトルクレードルを取り付けてご使用ください。

MP170D525棚仕様

棚 A	7 枚
棚 B(傾斜仕様可能)	6 枚

※各棚の各棚の最大積載量は25kgです。



取扱説明書 兼 保証書

保証書の再発行は致しませんので、本書を大切に保管ください。
取扱説明書は当社ホームページよりダウンロードも可能です。

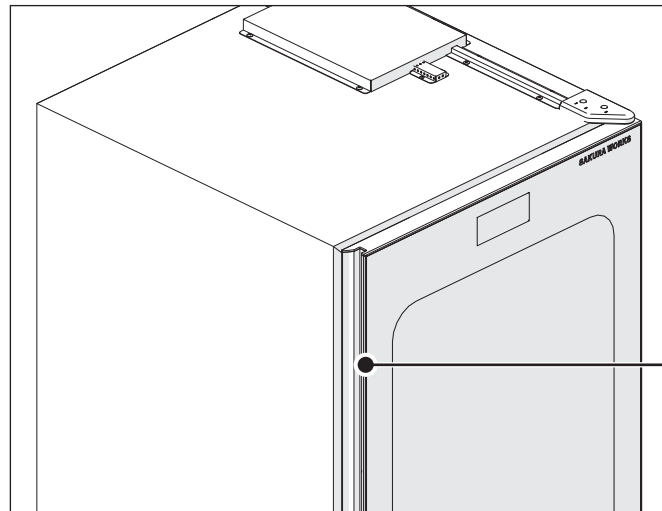
扉の取り扱いについて

構造と注意

ドアは右開き、または左開き一方向のみです。ドア開閉方向の左右反転はできません。

ドア開閉時のご注意

- 取手の反対側に手を掛けて開けない。
- 確実に閉める。確実に閉まっていないと冷却不良・水漏れ、霜付きなどの発生原因となります。
- 本体の扉構造部に(ヒンジ)にものを詰めたり、傷つけたりしない。
- 扉に荷重を掛けない。寄りかからない。
- 本体のドア構造部(ヒンジ)に注油しない。



扉に開き用のくぼみ(取手)が付いています。

ガラス扉を開けやすいよう、側面に指がかけられるくぼみが付いています。

ガラス扉の取り扱いに関するお願い

ガラス扉には**瓶や家電製品のような「硬いもの」を当てない**よう細心のご注意をお願いします。

傷や破損がある場合には、直ちに使用を中止し、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

市販のクッション材や飛散防止フィルムなどでガラス面を保護してお使いいただくことも可能です。

最も外側(手前側・最前部)のガラスは4mm厚の強化ガラスを使っていますので、安全面に優れています。

ただし、通常のガラスと比較し、**条件によっては割れやすい性質を持っています**ので取扱には十分ご注意ください。

万が一割れてしまった場合は、全面をテープなどで固定し、ガラスが崩れ落ちないように応急処置をしていただき、販売店、または当社サポートセンターまでご連絡ください。

その際、できる限りガラスには触れないでください。

強化ガラスって、どんなガラス？

強化ガラスは、**割れてしまった際に、ガラス全面が粒状になる**ことで、大きく鋭利な刃先とならずに、人体を大きなケガから守る**安全面に考慮されたガラス**です。一般的なフロートガラスと比較し、数倍の耐風圧、耐荷重強度を持っています。一方、点による衝撃や急激な温度変化には、非常に脆い側面があります。ワインのボトルなど硬いものがガラスに当たったり、家庭内でご使用されている食器や玩具、家電製品などがぶつかってしまった場合に、強い衝撃でなくても、衝撃角度などによって全面破損することがあります。ガラス内部に高い圧力がかかっているため、割れる際には、「ボン！」と爆発したような音を発することがあります。弊社の製品は、割れた場合にもガラス裏側から飛散を軽減するよう加工していますが、見つけにくい小さな傷、破損などが原因で、時間が経過してから、扉の開閉時にかかるガラスへの負荷などにより、自然発生的に非常にもろく割れてしまう場合があります。

長時間の「扉の開放」はアラームでお知らせします。

数分間「扉を開いたまま」にし続けると、アラームでお知らせします。

扉開放アラームが発動している間は、圧縮機とファンモーターなどの冷却運転の機能を全て停止します。

扉が開いたまま冷却をし続けると、水漏れの原因になるためです。

安全上の注意

ご使用の前によくお読みになって正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
内容は、当社ホームページからもご確認いただけるようになっています。

お使いになる人が、その他の人への危害、財産の損害、破損などを未然に防止するために、使用に際して必ずお守りいただかななくてはならないことを説明しています。表示内容を見無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

大分類	箇所	項目	発生症状	マーク	内容
警告	電源プラグ・コード	禁止	発火・火災・感電・漏電のおそれ	⊘	電源プラグを(本体や背面などで)押し付けない。
				⊘	電源プラグ・コードを破損するようなことをしない。束ねる、傷つける、加工する、高温部分に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重量物を載せるようなことはしない。
				⊘	電源プラグを引っ張って抜かない。
				⊘	電源コードやプラグが損傷したり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。
				⊘	濡れた手で電源プラグや電源コードを触らない。
				⊘	合計1500ワット以上で使用しない。
				⊘	たこ足配線、延長配線をしない。
				！	交流100V専用・定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
注意	電源プラグ・コード	遵守	発火・火災・感電・漏電のおそれ	！	電源プラグの見える場所、手の届く場所に設置する。
				！	電源プラグコードが下向きになるように差し込む。
				！	電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
				！	電源プラグのホコリなどは定期的に取り除く。
				！	電源プラグを抜くときは、コードではなく、プラグを持って抜く。
				！	アースを取り付ける。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話アース線には接続できません。 ※アースの取付は販売店にご相談ください。
				！	長期間使用しない場合、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。コンセントから抜いた後、カビ防止のためにドアを少し開けておく。
				！	異臭など焦げ臭いときは、電源プラグを抜く。
警告	庫内に入れてはいけないもの	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	医薬品・学術試料は保存しない。
				⊘	開栓・抜栓したワインを保存しない。
				⊘	日本酒・焼酎・ウイスキー・瓶、缶、ペットボトル飲料、その他食品などで容器が密閉されていないものは保存しない。
				⊘	生鮮食品は保存しない。本製品は食品の冷凍には適しません。
				⊘	生き物は保存しない。
				⊘	脱臭器・加湿器、その他電気製品を入れない。
				⊘	揮発性、引火性のあるものを入れない。
				！	密閉された容器に入っている飲料に限り保存することができます。(設定温度によって、保存できる飲料が異なりますので、「使いかた」12ページをよくお読みください。)
警告	庫内に保存するもの	遵守	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	！	ドア周辺や庫内にモノが挟まっていないか確認する。
				！	棚を引き出す際は、ドアバッキング損傷防止のため、ドアを90度以上(または全開)にする。
				⊘	製造業者が推薦するもの以外の、霜取りを速めるための機械的な器具、及びその他の手段を用いない。
				⊘	棚や中仕切り板を強く引き出したり、上下に圧力を掛けない。
				⊘	棚と中仕切り板に所定の耐荷重以上のモノを置かない。
				⊘	棚と中仕切り板以外の部分に直接モノを置かない。
				⊘	ワインの上にワインボトルを直接載せない。
				⊘	棚と中仕切り板に乗らないものを置かない。
警告	その他庫内	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	棚と中仕切り板に強い衝撃を加えない。
				⊘	モノを置いたまま棚を引き出したり、動かしたりしない。
				⊘	庫内に加水する際は、必ず内容物をすべて出してから行う。
				⊘	製品内箱からボトルやモノをはみ出させない。
				⊘	高湿度状態になっている時や表面に水滴がついているボトルなどは、保管、取り出しの際、滑りによる落下を防ぐため素手で触らない。
				⊘	お手入れの際に棚にもの置いたままです実施しない。
				！	掃除、点検の際は、必ず電源プラグを抜く。
				！	ボトルが接触する表面(棚など)を定期的に清掃してください。
警告	本体	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	本体や庫内の所定の位置以外に水や液体をかけない。
				⊘	製品の上に重いもの・液体入りの容器を置かない。
				⊘	本製品は、身体、感覚、精神能力が低下している方、または経験や知識が不足している方(子供を含む)が、安全に責任を持つ人の監督または指示がない限り、使用することを意図したものではありません。
				⊘	本体や庫内の所定の位置以外に水や液体をかけない。
				⊘	製品の上に重いもの・液体入りの容器を置かない。
				⊘	本製品は、身体、感覚、精神能力が低下している方、または経験や知識が不足している方(子供を含む)が、安全に責任を持つ人の監督または指示がない限り、使用することを意図したものではありません。
				⊘	本体や庫内の所定の位置以外に水や液体をかけない。
				⊘	製品の上に重いもの・液体入りの容器を置かない。

警告 ⚠					
大分類		箇所	項目	発生症状	マーク
警告	本体	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	本体下側に足や指などを挟まない。
				⊘	製品に体をぶつけない。
				⊘	製品の上に重いもの・液体入りの容器を置かない。後方本体・後方下部などの機械部分に触れない。
				⊘	製品下部に手や足を入れない。(レベル調整が必要な際は、8ページ「設置・据え付け方法」をあらかじめよくお読みください。)
				⊘	都市ガスなどが漏れたら冷蔵庫に触れずに窓を開け換気する。
				⊘	可燃性スプレーは近くで使わない。
				⚠	本製品は可燃性冷媒(R600a)を使用しています。取り扱い、お手入れ、廃棄の際は、火気に十分注意してください。
				⊘	扉にぶら下がったり、寄りかからない、乗ったりしない。
警告	ガラス扉	禁止	故障・破損・ケガなどのおそれ	⊘	幼児に扉を開けさせない。
				⊘	扉を強く開閉しない。
				⊘	ガラス扉に強い衝撃を与えない。 ※ガラスが割れたり、欠けた場合は、ガラスに触れず、すぐに販売店にご相談ください。
				⊘	ドアを閉める際、内容物がガラス扉に接触しない。
				⊘	ガラス扉の下に足、手、指を入れない。
				⊘	他の人が製品に触れているときは、扉を開閉しない。
				⊘	開いているドアの下側やヒンジ側に手や指を入れない。
				⊘	ワインの品質低下を防ぐため、ドアを長時間開けたままにしないでください。庫内の温度が急激に上昇し、保存環境が悪化する原因になります。
警告	設置・移動するときは	遵守	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	！	ガラス扉を開ける際は近くに人やものがないか確認する。
				！	製品の周囲にすき間をあける。(7ページ「設置・据え付け方法」参照) ※冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発のおそれがあります。
				！	製品質量および、内容物の質量に十分耐えうる場所に設置する。
				！	据え付けは、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼する。
				！	ご使用前に、必ず7～8ページ「設置・据え付け方法」のチェック項目を確認する。
				！	絨毯、畳、塩化ビニル床材、フローリング床などには丈夫な板やマットなどを敷く。
				！	地震にそなえて転倒防止処理を行う。(7、8、9ページ参照)
				！	移動、運搬時には庫内の水を完全にふき取り、ワイン(中身)を全て取り出す。(10ページ参照)
警告	庫内に保存するもの	遵守	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	！	湿気・水気の多い場所に設置する場合はアース線や漏電遮断タップなどを取り付ける。
				！	運搬時は下部前脚と背面上部を持って運搬する。
				！	傷つきやすい床での移動にはあらかじめ毛布などを敷き、傷防止処理を行う。
				！	ドアの開閉がないように処置して運ぶ。
				！	ドアのヒンジ部分に荷重、負荷がかからないようにして運搬する。
				！	丈夫で水平な硬い床面に調節脚でしっかり固定する。
				！	風通しの良いところに設置する。
				⊘	ガスコンロなど熱気が周囲にある場所、直射日光の当たる場所、テレビ、ラジオ、電話機、インターホン、電子レンジ、オープン調理器などに近い場所には設置しない。
警告	その他庫内	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	⊘	屋外や軒下など、水がかかるところには据え付けない。
				⊘	製品背面にマルチタップやポータブル電源を配置しない。
				⊘	分解・修理・改造は絶対にしない。また冷媒回路(間口・側面・天面・背面の配管等)を傷つけない、ネジ等を打たない。
				⊘	背面のカバーは絶対に開けない。
				⊘	部品が破損した状態のまま使用しない。
				！	冷媒回路(間口・側面・天面・背面の配管等)を傷つけたときは、使用を中止し、本体に触れず、窓を開けて換気し、販売店に確認する。
				！	震災や水害に遭ったときは、電源を入れる前に販売店に相談する。
				！	リサイクルするときには、ドアバッキングをはずす。
警告	庫内に保存するもの	遵守	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	！	廃棄時には、販売店や市町村に引き渡す。
				！	本製品を家電リサイクル法に基づいて廃棄・引き渡しするまでの間、ガレージや屋外などに一時的に保管する場合は、子供が中に入って閉じ込められるのを防ぐため、必ず扉を取り外してください。また、子供が簡単に中に入れないよう、棚は内部に残したままにしてください。
				！	本製品を家電リサイクル法に基づいて廃棄・引き渡しするまでの間、ガレージや屋外などに一時的に保管する場合は、子供が中に入って閉じ込められるのを防ぐため、必ず扉を取り外してください。また、子供が簡単に中に入れないよう、棚は内部に残したままにしてください。
				！	本製品を家電リサイクル法に基づいて廃棄・引き渡しするまでの間、ガレージや屋外などに一時的に保管する場合は、子供が中に入って閉じ込められるのを防ぐため、必ず扉を取り外してください。また、子供が簡単に中に入れないよう、棚は内部に残したままにしてください。
				！	本製品を家電リサイクル法に基づいて廃棄・引き渡しするまでの間、ガレージや屋外などに一時的に保管する場合は、子供が中に入って閉じ込められるのを防ぐため、必ず扉を取り外してください。また、子供が簡単に中に入れないよう、棚は内部に残したままにしてください。
				！	本製品を家電リサイクル法に基づいて廃棄・引き渡しするまでの間、ガレージや屋外などに一時的に保管する場合は、子供が中に入って閉じ込められるのを防ぐため、必ず扉を取り外してください。また、子供が簡単に中に入れないよう、棚は内部に残したままにしてください。
				！	本製品を家電リサイクル法に基づいて廃棄・引き渡しするまでの間、ガレージや屋外などに一時的に保管する場合は、子供が中に入って閉じ込められるのを防ぐため、必ず扉を取り外してください。また、子供が簡単に中に入れないよう、棚は内部に残したままにしてください。
				！	本製品を家電リサイクル法に基づいて廃棄・引き渡しするまでの間、ガレージや屋外などに一時的に保管する場合は、子供が中に入って閉じ込められるのを防ぐため、必ず扉を取り外してください。また、子供が簡単に中に入れないよう、棚は内部に残したままにしてください。
警告	本体	禁止	故障・水漏れ・異音・破損・爆発・引火・ケガなどのおそれ	！	直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、すぐに当社カスタマーサポートまたは、販売店へ連絡する。
				！	【故障・異常例】 電源コードや電源プラグが発熱している。 ビリビリと電気を感じる。 電源コードや電源プラグに破損がある。 ガタガタなどの異音がある。 焦げ臭いにおいがする。
				！	直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、すぐに当社カスタマーサポートまたは、販売店へ連絡する。
				！	【故障・異常例】 電源コードや電源プラグが発熱している。 ビリビリと電気を感じる。 電源コードや電源プラグに破損がある。 ガタガタなどの異音がある。 焦げ臭いにおいがする。
				！	直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、すぐに当社カスタマーサポートまたは、販売店へ連絡する。
				！	【故障・異常例】 電源コードや電源プラグが発熱している。 ビリビリと電気を感じる。 電源コードや電源プラグに破損がある。 ガタガタなどの異音がある。 焦げ臭いにおいがする。
				！	直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、すぐに当社カスタマーサポートまたは、販売店へ連絡する。
				！	【故障・異常例】 電源コードや電源プラグが発熱している。 ビリビリと電気を感じる。 電源コードや電源プラグに破損がある。 ガタガタなどの異音がある。 焦げ臭いにおいがする。

設置・据え付け方法

ご使用の前に必ずチェックしてください。

- 停電など通電ができない、冷却運転ができない場合に備えて、製品の棚1段あたり、あたり350～500g程度の保冷剤を準備してください。あらかじめ、保冷剤を凍らせておくことで、短期的な庫内温度の維持に役立ちます。

お願い

- 製品を横向きにしないでください。(故障の原因)
- 輸送によりコンプレッサーの冷媒が安定していませんので、**据え付け後30分**は電源を入れないでください。
- 電源プラグを抜いた場合は、**7分以上待つ**てから電源プラグを差し込んでください。(すぐに差し込むと、圧縮機に負荷がかかり故障の原因となります。)
- ペットのし尿がかからないよう十分ご注意ください。
- 温泉成分が空気中に含まれる場合、そのまま使用すると冷媒配管が腐食することがあります。別途、防錆処理が必要な場合がありますので、お買い上げの販売店へご相談ください。

Check

☐ パッケージ内容は確認しましたか？

☐ 地震や、棚引き出し時の転倒に備えて固定されていますか？

必ず付属の転倒防止ブラケットを使用して、壁や床にしっかりと固定してください。(取り付け方法の詳細は9ページをご参照ください)

※市販の転倒防止ベルト等を併用される場合は、販売店にご相談ください。

☐ 設置スペースやドアの開閉スペースは十分確保できていますか？

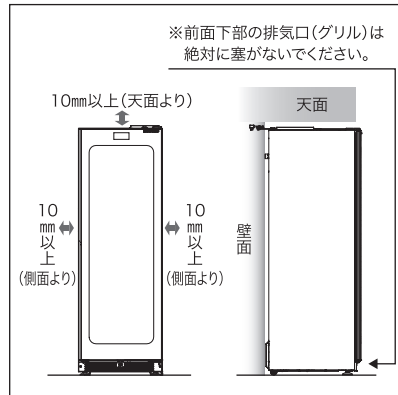
【放熱スペースは不要です(ビルトイン対応)】

本製品は前面下部から放熱する構造のため、本体の周囲(天面・側面・背面)に放熱を目的としたスペースを空ける必要はありません。

※前面下部の排気口(グリル)は絶対に塞がないでください。

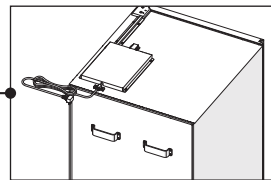
【設置・メンテナンス推奨スペース】

放熱スペースは不要ですが、設置時の作業や万が一の修理等で製品を前に引き出せるよう、天面・左右側面にそれぞれ10mm以上のゆとり(隙間)を設けて設置することをおすすめします。



☐ 外観に不具合やガタツキはありませんか？

設置完了後は保証の対象外となります。



電源コードは、本体の天面(上部)から出ています。

アース線接続用ネジ

アース接続できないところ

- ◆ 水道管(感電のおそれ)
- ◆ ガス管(爆発のおそれ)
- ◆ 電話線や避雷針(落雷時に危険)

法令で禁止されています。

設置・ご使用前に

設置前に製品外観、庫内、付属品の有無などを必ずご確認ください。

製品の設置前に、必ず調節脚もしくは移動用ローラーが製品底面に4本取り付けられていることを確認した後、設置してください。万が一、調節脚がない場合は設置せず、直ちに当社サポートセンター、または販売店へご連絡ください。

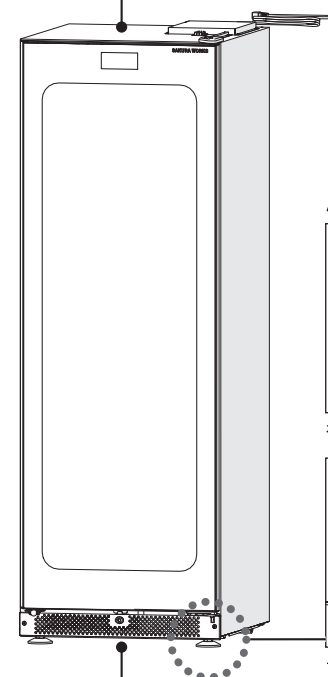
庫内を清掃してください。(25ページ参照)

- 梱包材の細かい粒子などが製品に付着している場合があります。湿らせた柔らかい布などでふいたあと、水分などが残っていたら乾拭きして仕上げてください。
- 収納棚も拭いたあと、水分などが残っていたら乾拭きして仕上げてください。
- 使い始めは、プラスチックからにおいがする場合があります。においがこもらないように部屋の風通しをよくしてください。においは通電を続けていれば自然に消えていきます。

においが気になる場合は、「よくある症状」(29ページ)の「においについて」をご確認ください。

☐ 天面にものを置いていませんか？

ものの落下による破損、ケガなどのおそれがあります。



設置場所について

- ☐ 製品が左右に傾いていませんか？
- ☐ 扉が天面に対して10mm以上大きく下がっていませんか？
- ☐ 床の耐荷重は問題ありませんか？
- ☐ 床面の保護などは実施されましたか？

- ◆ 製品の設置は調節脚で正しく行ってください。
- ◆ 製品の扉質量が重いため、製品を製品の前脚を5mm程度上げて設置してください。
- ◆ 調節脚が回しにくいときはガーゼなど柔らかい布で調節脚を包み、モンキーレンチなどを使って調整ください。
- ◆ 内容物の荷重や設置面の床強度や材質により、お使い後4-5日で扉が下がってくる場合があります。
- ◆ ワインフルボトル 750ml ボルドー・ブルゴーニュ 約1.4kg/本
瓶厚ボトル・スパークリング 約1.6kg/本 一升瓶 2.9kg/本

☐ 次のような場所に設置されていませんか？

- ◆ 熱気が周囲にある場所
- ◆ 直射日光が当たる場所
- ◆ テレビ、ラジオ、電話機、インターホン、電子レンジ、オープンなどに近い場所
- ◆ 風通しの悪い場所
- ◆ 不安定で傾きやすい場所
- ◆ 湿気が多い場所
- ◆ 電源プラグに手が届かない場所
- ◆ 屋外・軒下、倉庫など

扉は本体天面に対して水平でない場合があります。扉の上辺が本体天面に対して、左右いずれかに10mm以上の下がり、または上がりがあれば、正しい設置状況を確認の上、設置してください。

扉の上辺の左右いずれかが、本体の天面に対して、10mm程度下がっている(扉下がり)または、上がっている(扉上がり)ことがあるままご使用になると、本体歪みの原因になります。これらの症状は、一度発生してしまうと修理不能となる場合がありますので、十分ご注意ください。なお、この場合は保証対象外となります。

設置時の注意点

注 意 【左右の水平について】

設置時に必ず水平器を使って左右の水平を確認してください。左右方向に傾いていると、扉の重さで本体が歪み、扉が本体に対して水平にならない可能性があります。

注 意 【前後の調節について】

設置時には5mm程度やや前側の調節足を高くしてご使用ください。ガラス扉は大変重いため、前足側が低くなっていると、扉の開き圧力が増し、扉の密閉性に不具合の生じる可能性があります。

注 意

据え付け時に製品を引きずらないでください。床面を傷つける恐れがあります。

電源投入前に必ず確認してください。

☐ 電源まわりに不備などはありませんか？

電源コンセント AC100V 15A以上(単独使用)

※本製品の電源コードは、本体の天面(上部)から出ています。

くわしくは安全上の注意の「電源プラグ・コード」の項目をよくお読みください。調理場など湿気や水気の多い場所には漏電遮断器の設置が義務付けられています。

床面にマットなどを敷いてご使用される場合は、床材との相性や材質もご確認ください。床材の保証は免責となります。

設置・据え付け方法

転倒防止用ブラケット

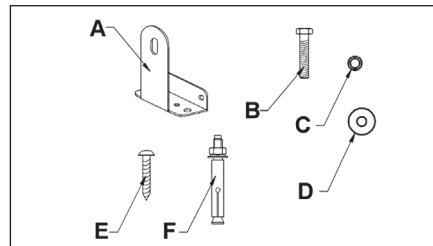
警告

棚を引き出した際、本体が前に傾いて転倒し、破損やケガの原因となる恐れがあります。

本製品を自立式(フリースタンディング)でご使用になる場合は、必ず以下の手順に従って転倒防止ブラケットを取り付けてください。

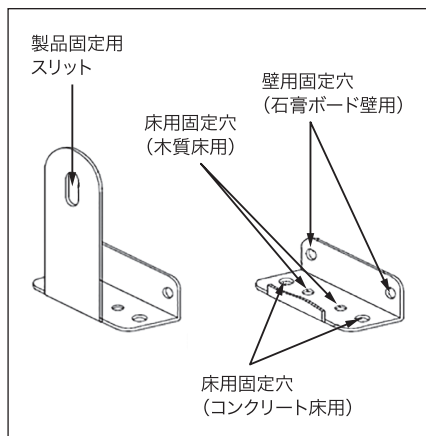
■ 使用部品リスト(同梱)

A : 転倒防止用L字ブラケット (1個)
B : 六角ボルト (1個) サイズ: M6×20mm
C : スプリングワッシャー (1個) サイズ: M6用
D : 平ワッシャー (1個) サイズ: M6用
E : 固定ネジ (2個) サイズ: ST4×35mm
F : コンクリート用アンカーボルト (1個)
サイズ: M6×60mm



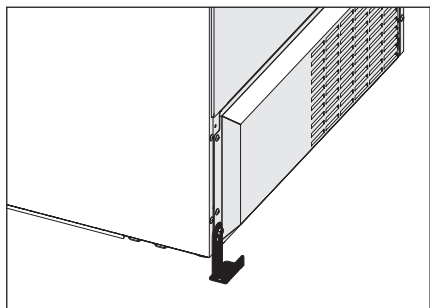
※上記部品が2セット付属しています。設置時は必ず左右両方にブラケットを取り付けてください。

■ ブラケット穴の名称



■ ブラケットの取り付け位置について

ブラケットは、製品背面下部の「左側」および「右側」の両方に取り付けます。転倒防止のため、設置時は必ず左右両方にブラケットを取り付けて固定してください。



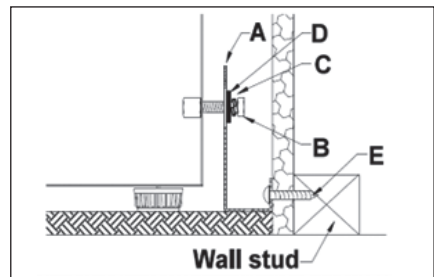
※逆側も同様に固定します。

設置環境別の固定方法

設置場所の材質(壁面・木質床・コンクリート床)に合わせて、以下の3つの方法から選んで固定してください。

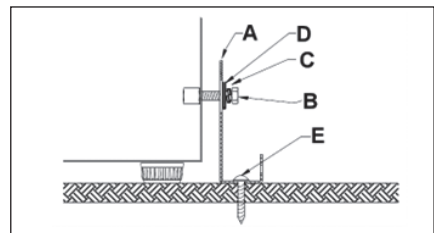
1. 石膏ボード壁(下地木材)への固定

- 設置場所を決めたら、ブラケット(A)の「壁用固定穴(石膏ボード壁用)」を壁に当てて床に置きます。
- 固定ネジ(E)2本を使用して、ブラケットを壁に固定します。
※ ネジは必ず壁の内側にある木製の下地(間柱など)に打ち込んでください。
金属製の下地などの場合は床固定をお選びください。
- 本体を動かし、「本体背面の取り付け穴」とブラケットの「製品固定用スリット」の位置を合わせます。
- 六角ボルト(B)、スプリングワッシャー(C)、平ワッシャー(D)の順に通してしっかりと固定します。



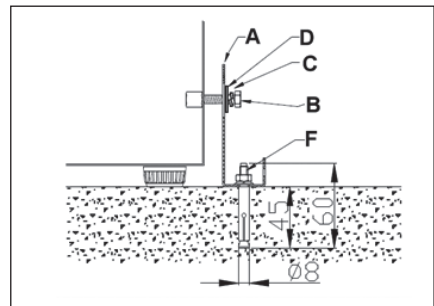
2. 木質の床への固定

- 設置場所を決めたら、ブラケット(A)を床に置きます。
- 固定ネジ(E)2本をブラケットの「床用固定穴(木質床用)」に通し、床にしっかりと固定します。
- 本体を動かし、「本体背面の取り付け穴」とブラケットの「製品固定用スリット」の位置を合わせます。
- 六角ボルト(B)、スプリングワッシャー(C)、平ワッシャー(D)の順に通してしっかりと固定します。



3. コンクリート床への固定

- 設置場所を決めたら、ブラケット(A)の「床用固定穴(コンクリート床用)」のいずれかを選びます。
- コンクリート用ドリルを使用し、直径8mm、深さ45~55mmの下穴を開けます。
- アンカーボルト(F)からナット、スプリングワッシャー、平ワッシャーを外します。
- ハンマーなどを使用し、アンカーボルトを下穴に慎重に打ち込みます。
- ブラケットの「床用固定穴(コンクリート床用)」を合わせ、外したワッシャーとナットを戻してコンクリート床にしっかりと固定します。
- 本体を動かし、本体背面の取り付け穴とブラケットの「製品固定用スリット」の位置を合わせ、六角ボルト(B)、スプリングワッシャー(C)、平ワッシャー(D)で固定します。



【確認】

設置完了後、本体を軽く手前に引いてみて、傾かないことを確認してください。もし傾く場合は、上記の手順を再度確認し、ブラケットを取り付け直してください。

設置・据え付け方法(移動・運搬)

運搬用取っ手

■ 運搬用取っ手

製品の背面に運搬用取っ手が取付られています。

製品を壁や家具、その他重量のある家電製品、ラックなどと繋ぐことで転倒防止対策が可能です。

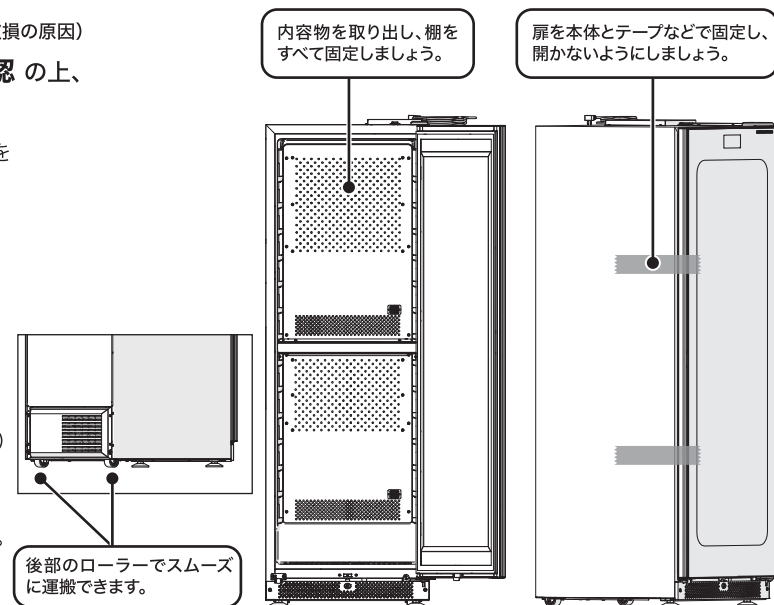
市販の転倒防止用商品を別途お買い求めいただき、転倒防止対策をしてご使用ください。

移動・運搬するとき

- 必ず、2人以上で運搬し、横にしないでください。(故障、破損の原因)
- 移動・運搬の際は、必ず安全上の注意を再度ご確認の上、記載内容を遵守してください。

- 電源プラグを抜き、10時間程度をおいてください。電源プラグを抜いてから霜が溶けるまでに、最大約10時間かかります。
- 内容物をすべて取り出してください。
- 転倒防止ブラケット、または転倒防止ベルトを外してください。
- 棚をすべてテープなどで固定してください。
(棚が当たることによりガラス破損などの原因)
- ガラス扉をテープなどで本体と固定してください。
(運搬中に扉が開くことによる破損、ケガなどの原因)
- 排水皿の水をすべて抜いてください。
(運搬中に排水がこぼれることによる故障、床の破損などの原因)
- 本体の後脚にはローラーが付いています。移動させる際は、必ず2人以上で本体の前側(前脚)を少し浮かせると、後部のローラーを使用してスムーズに運搬することができます。
(※大きく傾けすぎないようにご注意ください。)
- 移動・運搬後は、30分以上してから通電させてください。

※この製品は50/60Hz(ヘルツ)共用です。周波数切り替えの必要はありません。



排水皿に溜まった水を抜く

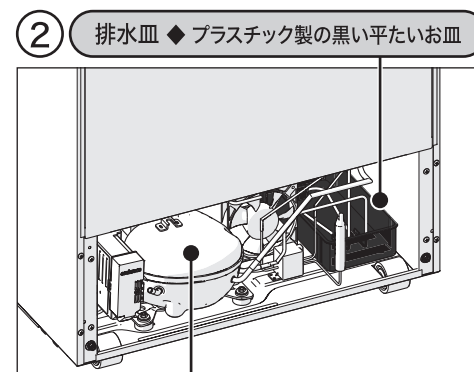
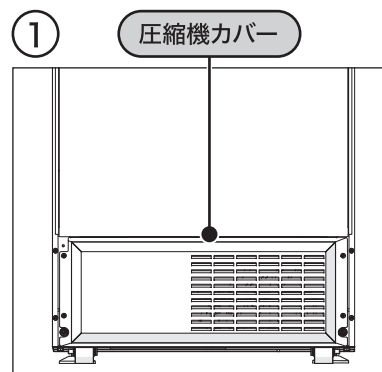
※移動・運搬時に必要な作業です。通常の使用では特に必要ありません。

【庫外・背面】

- ☐ 電源プラグを抜いてから10時間以上経過していますか?
- ☐ 安全のため、軍手などを着用の上実施してください。
- ☐ 水がこぼれることがありますので、床面に雑巾などを敷いてください。

※移動・運搬時に必要な作業です。
通常の使用では特に必要ありません。

- 背面下の圧縮機カバーを取り外す。(プラスドライバーが必要です)
- 圧縮機横にある排水皿に水が溜まっている場合は、布などでふき取ってください。
(※本製品の排水皿は引き出せません。無理に引っ張らないでください。)

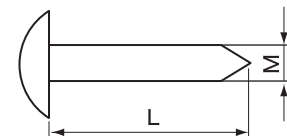


圧縮機

圧縮機に手を触れないでください。
通電中、通電直後は高温になっています。

圧縮機カバー用ネジについて

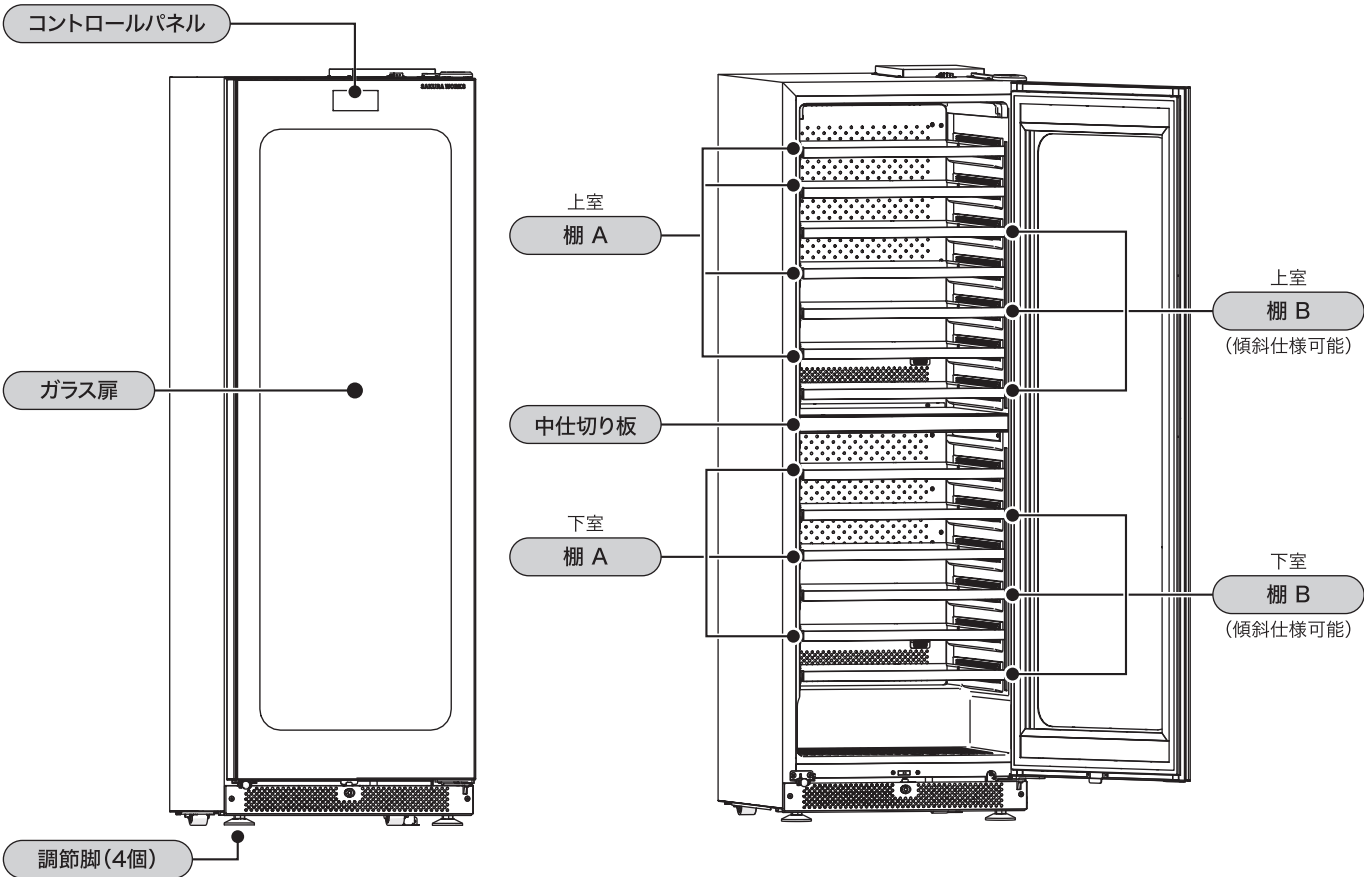
- ネジ形状: トラス頭
- ネジ山種類: タッピングネジ
- ネジ取付形状: 十字穴(プラスドライバー)
- ネジ先端: とがり先
- L=10.5mm M=4mm
- 材質: SWCH



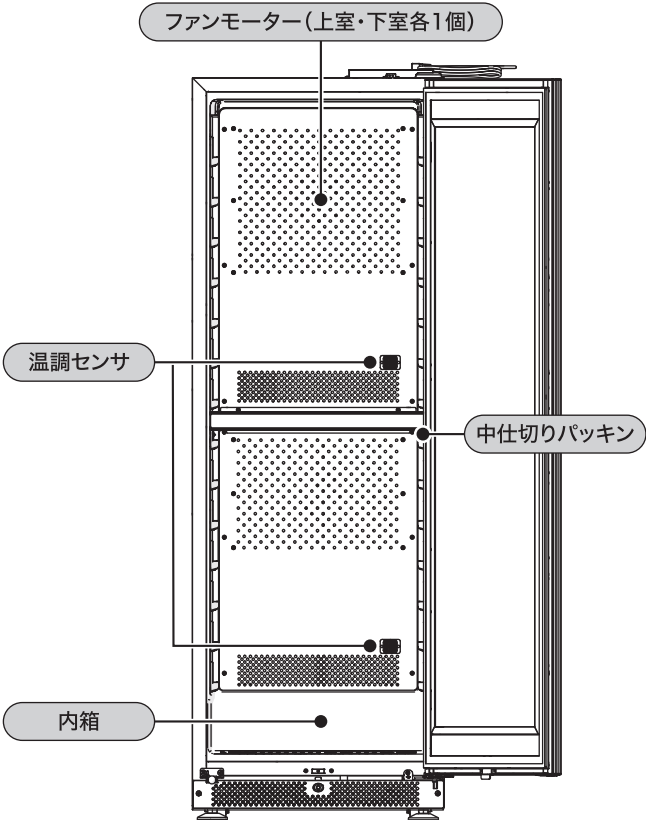
圧縮機カバーを何度か取り外しすると、ネジの特性上、ネジ穴が大きくなり、ネジのトルクが緩くなる場合があります。その際は、当社サポートセンターまでご連絡ください。

各部の名称

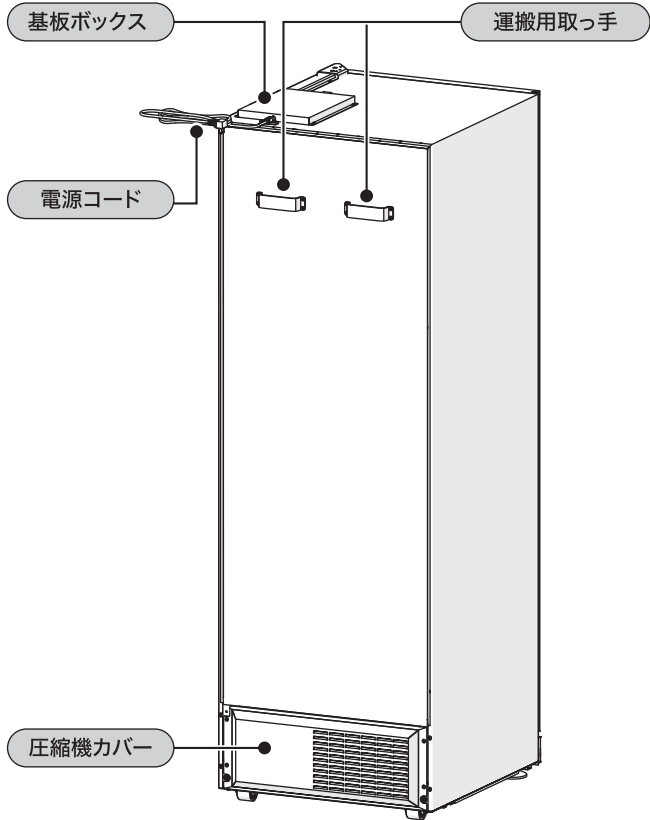
正面



庫内



背面



使いかた

- 電源プラグを差し込むと自動的に通電と冷却運転が開始されます。
- 冷却運転が開始されると、表示部分に「現在」の庫内温度が表示されます。

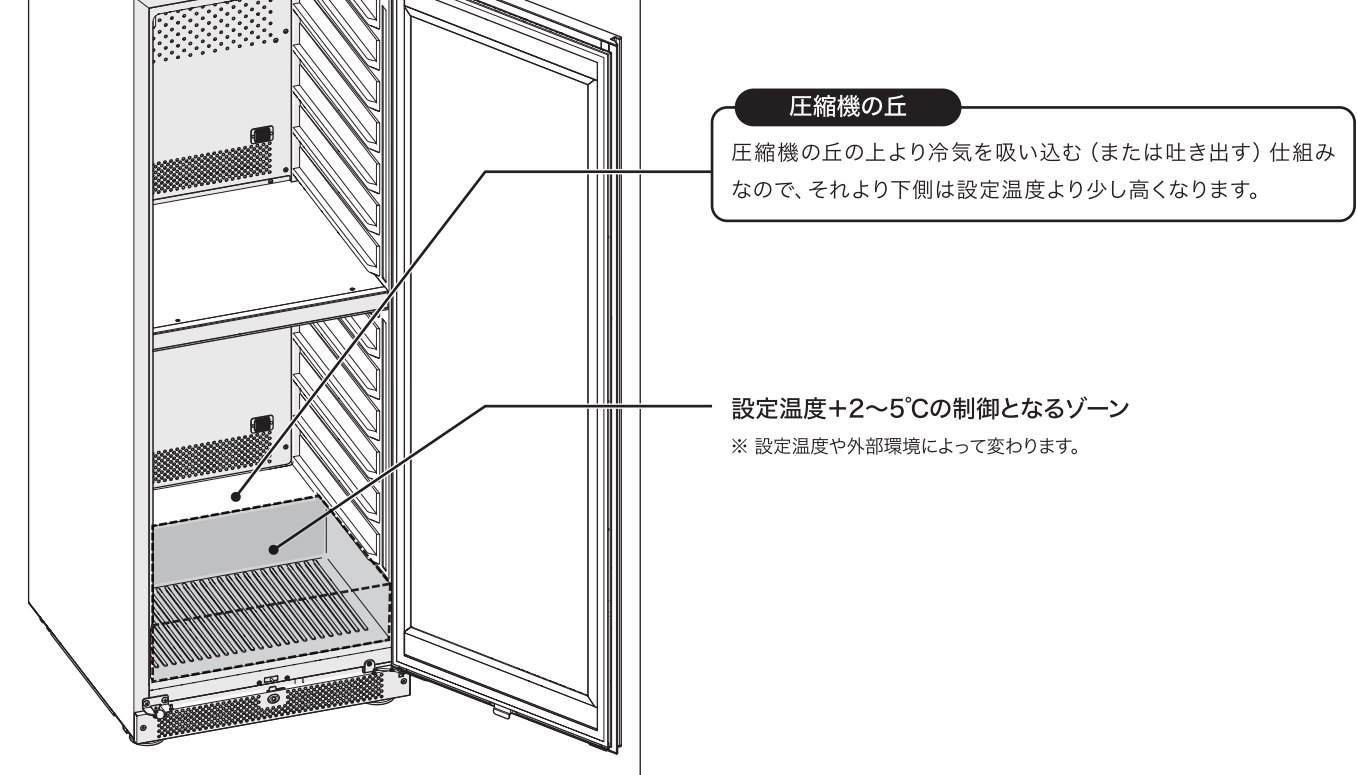
保存温度参考表

内容物	保存温度	目的	保存メモ
赤ワイン・白ワイン・スパークリング	12℃～16℃	長期熟成	可能であれば、年間通じて4～6℃程度の微妙な温度変化をつけていただくと液体に「動き」が生じて熟成が進みます。詳しくは当社ホームページを参照ください。
赤ワイン	14℃～18℃	短期保管	赤ワインを「飲み頃温度」で保管するには最適な温度帯です。適温で飲むことでよりワインの味が引き立てられます。
白ワイン	8℃～12℃	短期保管	白ワインを「飲み頃温度」で保管するには最適な温度帯です。適温で飲むことでよりワインの味が引き立てられます。
スパークリングワイン シャンパーニュ	5℃～7℃	短期保管	スパークリングワインを「飲み頃温度」で保管するには最適な温度帯です。適温で飲むことでよりワインの味が引き立てられます。

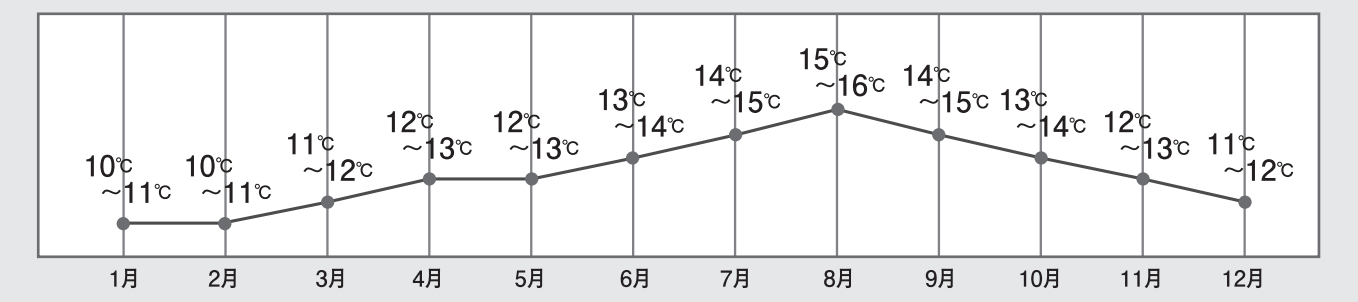
内容物の飲み頃温度など適正温度については、商品や季節などによって異なります。詳しくは、各商品の販売元にお問い合わせください。

温度制御のイメージ図

圧縮機の丘より下側のゾーンは、設定温度プラス2～5℃程度高くなります。
これは圧縮機タイプの製品で、丘がある製品の特徴です。
設定温度が高い場合は、温度差は小さく収まります。



ワインの保存環境のイメージ(温度変化)



お勧めのワイン熟成方法 ◆ 本場のカーヴから得たワインの瓶熟について

それは長い歴史の中で「コルク」が使われ続けているところにヒントがあるのではないのでしょうか…

ワインの瓶熟のポイント

① 年間で4～6℃くらいの温度変化をつける。

② 一度保管したワインはできる限り動かさない。ボトルを触らない。

特に重要な温度変化。1か月から2か月に1回、温度設定を1℃か2℃ほど変えるだけです。ワインに意図的な変化をつけることで、ワインを「呼吸」させましょう。 ※「呼吸」が必要なのはワインです。セラーではありません!

● ● ●

ワインを熟成させて味わいたいなら、温度変化をつけてよりカーヴに近い環境で「ワインを育てる」ことをお勧めします。なぜなら、一定温度の保管では、「熟成が思うように進まないのではないか」と考えているからです。

その理由は3つ。

① 液体の体積は、温度変化に伴って増えたり減ったりします。一定温度であれば液体、つまり、ワインの体積に変化をもたらしません。夏に膨張してコルクにワインを含み、冬には収縮してコルクからフレッシュな空気を吸い込みます。このワインの「動き」がつまり「呼吸」です。酸化還元熟成をするワインに必要な「温度変化」。それがワインにとって、「呼吸」であると考えられています。

② ワイン呼吸のポイントは「コルク」。樽熟成と違い、瓶熟成はコルクからしか酸素を取り入れることができません。長い歴史の中、ワインを完全に密閉せずに、コルクが使用され続けているのは、やはりワインに「呼吸」が必要だからではないのでしょうか。

③ フランスのブルゴーニュ地方など、歴史ある「カーヴ」は、機械による制御だけではなく、数百年来の歴史を受け継ぐ自然環境の中でワインを熟成させています。季節をめぐり、一年を通して緩やかに、微妙な温度変化を受けながらワインは「熟成」されます。平均的なカーヴの環境は、夏は14～18℃、冬は10℃～14℃、この緩やかな温度変化の中でワインは育てられています。

● ● ●

どのようなプロセスでワインの熟成が進み、香りやテイストなどが変化していくのかは解明されていません。しかし、先の理由から、季節によって緩やかに温度変化することこそ、「瓶熟」が進む最大の要素ではないかと考えています。

温度表示の説明	
温度	現在温度を表示していますので、表示温度は頻繁に切り替わります。設定温度と常時一致はいたしません。

タッチパネルのメイン画面の説明、機能説明と各操作方法



項目	項目名	説明内容
A	電源	本体の電源をオン／オフにします。
B	冷却運転表示	庫内を冷却しているときに点灯します。
C	加熱運転表示	庫内を加熱しているときに点灯します。
D	扉開放表示	扉が開いているときに点灯します。
E	警報表示	異常が発生したときに点灯します。
F	ロック設定	タッチパネルのロック状態を表示します。タッチすると確認のポップアップが表示されます。
G	周囲温度表示	製品周囲の現在の温度を表示します。
H	時刻表示	現在時刻を表示します。タッチすると時刻の設定画面が表示されます。
I	上室設定温度	上室の設定温度を表示します。タッチすると温度の設定画面が表示されます。

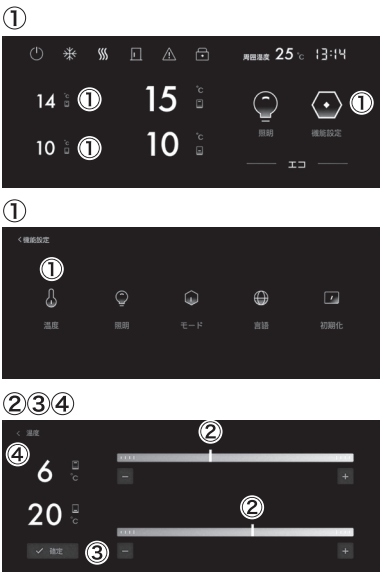
項目	項目名	説明内容
J	下室設定温度	下室の設定温度を表示します。タッチすると温度の設定画面が表示されます。
K	上室現在温度	上室の現在温度を表示します。
L	下室現在温度	下室の現在温度を表示します。
M	温度単位	温度表示の単位(°C/°F)を表示します。タッチすると単位切替のポップアップが表示されます。
N	上室冷却表示	上室を冷却しているときに点滅します。
O	下室冷却表示	下室を冷却しているときに点滅します。
P	照明設定	タッチすると照明の設定画面が表示されます。
Q	機能設定	タッチすると本体の各種詳細設定を行うメニュー画面が表示されます。
R	運転モード	現在の運転モードを表示します。タッチするとモードの設定画面が表示されます。

温度の設定

- ① メイン画面の「上室設定温度」または「下室設定温度」をタッチすると、温度設定画面が表示されます。※メイン画面の「機能設定」→「温度」の順にタッチしても表示できます。
- ② 設定したい室の「+/-」をタッチするか、スライダーバーを左右にスライドさせて、お好みの温度(5℃～25℃)に調節してください。
- ③ 「確定」をタッチすると、設定を保存します。
- ④ 設定後は、画面左上の「<」(戻る)をタッチするか、そのまましばらく待つとメイン画面に戻ります。

温度設定完了後のご注意

- 庫内温度のバラツキなどに関しては、「使い方のコツ／庫内温度を設定どおりにしたい」(23ページ)をご確認ください。
- ワインなどの内容物は、製品の庫内が目的温度に達したことを確認してから収納してください。
- 常温の液体などを一度に大量に収納すると、液体から発生する熱により冷却運転時間が長くなり、設定温度に至るまでの時間を要します。
- 一旦液体が冷えたら、使いはじめよりも少ない圧縮機の運転時間で冷却サイクル運転をし続けます。



冷却運転表示と加熱運転表示

- コンプレッサーが稼働して冷却運転している時には「冷却運転表示」、ヒーターが稼働して加熱運転している時には「加熱運転表示」が点灯します。
- 冷却運転時には、冷却している室の「冷却表示」が点滅します。

使いかた

ライトの設定

- ① メイン画面の「照明」をタッチすると、照明に関する設定画面が表示されます。
※メイン画面の「機能設定」→「照明」の順にタッチしても表示できます。

■ 動作（点灯時間の設定）

- ② 画面左側の「動作」をタッチします。
- ③ 下記の3種類からお好みの設定を選択してください。
- 扉連動 ：扉を開けると点灯し、閉めると消灯します。
扉連動（1分後消灯）：扉を開けると点灯し、閉めてから1分後に消灯します。
常時点灯 ：扉の開閉に関わらず、常に点灯し続けます。

■ 色（カラーの設定）

- ④ 画面左側の「色」をタッチします。
表示される10色のアイコンの中から、お好みの色を選択してください。

■ 照度（明るさの設定）

- ⑤ 画面左側の「照度」をタッチします。
下記の3種類からお好みの明るさを選択してください。
- 50% ：明るさを抑えた設定です。
75% ：標準的な明るさの設定です。
100% ：最も明るい設定です。

【設定を保存して戻るには】

各設定を選択した後、必ず左下の「確定」をタッチして保存してください。画面左上の「<」（戻る）をタッチするか、そのまましばらく待つとメイン画面に戻ります。

運転モードの設定

- ① メイン画面右下の「運転モード表示」（「エコ」や「ノーマル」と表示されている部分）をタッチすると、設定画面が表示されます。
※「機能設定」→「モード」の順にタッチしても表示できます。
- ② 下記の4種類からお好みのモードを選択してください。
- ノーマルモード：通常はこのモードで使用してください。すべての機能が有効になります。
プロモード ：庫内温度をノーマルモードよりも厳密に制御します。その他の機能はノーマルモードと同じです。
エコモード ：省エネを優先するモードです。照明は点灯しません。また、扉を開けてから約10秒後にタッチパネルの表示が消えます。温度制御はノーマルモードと同じです。
デモモード ：展示用のモードです。冷却・加熱運転は行わず、ファンは動作しません。現在温度表示には設定温度が表示されます。
- ③ 「確定」をタッチすると、設定が保存されます。
- ④ 設定後は、画面左上の「<」（戻る）をタッチするか、そのまましばらく待つとメイン画面に戻ります。

電源ON／OFF

- ① 電源プラグを差し込むと、起動画面が表示された後、タッチパネル画面が表示されます。
- ② 「電源」アイコンを3秒長押しすると、電源をOFFします。
- ③ 電源OFF設定中、パネルをタッチすると、電源ONのポップアップが表示され、「はい」を選択すると、電源をONします。

タッチパネルのロック／解除

■ タッチパネルの操作をロックして、誤操作を防ぐことができます。

- ① メイン画面上部の「ロック設定」アイコンをタッチすると、確認のポップアップが表示されます。
- ② 「はい」をタッチすると、アイコンが明るくなり、画面操作がロックされます。
※ロック中も、電源のON/OFF操作は可能です。
- ③ ロックを解除するときには、ロックアイコンを「3秒間長押し」すると、解除確認のポップアップが表示されます。
- ④ 「はい」をタッチすると、ロックが解除され、アイコンが元の表示に戻ります。



※LEDライトの常時点灯はお控えください。
内容物に影響を与える可能性があります。

温度単位の切り替え

■ 摂氏（℃）と華氏（℉）の表示を切り替えることができます。

- ① メイン画面の「温度単位」アイコン「℃」または「℉」をタッチすると、単位選択のポップアップが表示されます。
- ② 「℃」または「℉」をタッチして選択すると、設定が保存され、自動的にメイン画面に戻ります。

時刻の設定

■ 現在時刻を変更することができます。

- ① メイン画面の「時刻表示」をタッチすると、時刻設定画面が表示されます。
- ② 「時・分・秒」の各項目を上下にスライドさせ、現在の時刻に合わせます。
- ③ 「確定」をタッチすると、設定が保存され、メイン画面に戻ります。

言語の設定

■ 表示言語を変更することができます。

- ① メイン画面の「機能設定」→「言語」をタッチすると、言語設定画面が表示されます。
- ② 下記の4種類からお好みの言語をタッチして選択してください。
日本語、英語 (English)、簡体中文、繁体中文
- ③ 「確定」をタッチすると、設定が保存されます。
- ④ 設定後は、画面左上の「<」（戻る）をタッチするか、そのまましばらく待つとメイン画面に戻ります。

初期化

■ 本体の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷時設定）に戻します。

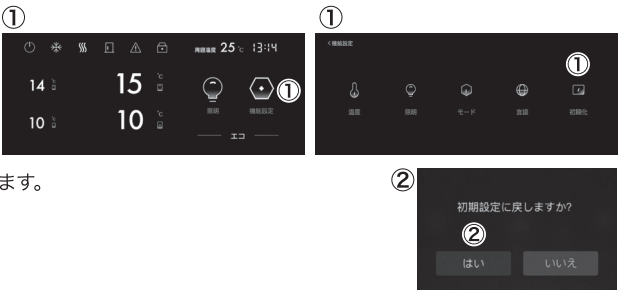
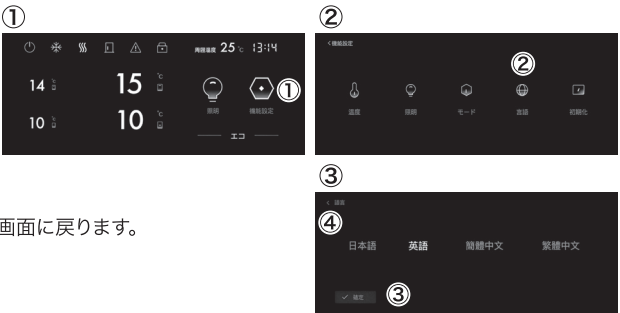
- ① メイン画面の「機能設定」→「初期化」をタッチすると、確認のポップアップが表示されます。
- ② 「はい」をタッチすると、時刻以外の設定がリセットされます。
- ③ 画面左上の「<」（戻る）をタッチするか、そのまましばらく待つとメイン画面に戻ります。

エラー表示

■ 摂氏（℃）と華氏（℉）の表示を切り替えることができます。

- 庫内温度や制御の不具合、または扉を一定時間以上開けたままにすると、「エラーメッセージ（ポップアップ）」が表示され、同時に「警告音」と「警報表示」アイコンが点灯します。
- 警告音およびエラーメッセージは、画面のどこかをタッチすると解除できます。
- メッセージを消した後、不具合が解消されないまま10秒間何も操作をしないと、再度エラーメッセージが表示されます。
※原因が解消されるまで「警報表示アイコン」は点灯し続けます。
- エラー表示が出た場合は、下記の「エラー表示一覧」、および「故障かな?と思ったら」をご確認いただき、それでも改善しない場合にはサポートセンターまでご連絡ください。

エラーメッセージ	エラー内容	エラー発令中の製品動作	対応
扉を閉めてください	扉が一定時間以上開放したままになっています。	冷却運転を停止します。	扉を閉めてください。
上室センサー異常 ／下室センサー異常	庫内温度センサーに不具合が生じている可能性があります。	該当する室の冷却を停止し、正常な室は冷却運転を継続します。	修理が必要となりますので、サポートセンターまでご連絡ください。
周囲センサー異常	周囲温度センサーに不具合が生じている可能性があります。	設定温度に従って冷却運転を行います。	修理が必要となりますので、サポートセンターまでご連絡ください。
上室高温異常 ／下室高温異常	庫内温度が高温の状態が一定時間継続しています。	該当する室の冷却を停止し、正常な室は冷却運転を継続します。	電源コードを抜き、15分ほど待ってから差し直してください。 改善しない場合はサポートセンターまでご連絡ください。
上室低温異常 ／下室低温異常	庫内温度が低温の状態が一定時間継続しています。	冷却運転を停止します。	電源コードを抜き、15分ほど待ってから差し直してください。 改善しない場合はサポートセンターまでご連絡ください。
通信異常	制御基板との通信エラーが発生しています。	設定温度に従って冷却運転を行います。	電源コードを抜き、15分ほど待ってから差し直してください。 改善しない場合はサポートセンターまでご連絡ください。



使いかた

保管のしかた

◎ ボトルの直径や形状によって収納本数は変わります。

※ 上室の最上段は内箱の勾配と断熱材の厚みによりわずかな個体差があります。少し幅がせまくなっておりますので、ブルゴーニュ瓶が2本、ボルドー瓶が2本となる場合があります。

※ 86mm以上の太いボトルは、上室の最上段と下室の最上段以外に収納をしてください。内箱の勾配があるために奥までボトルが入りきらない場合があります。

※ スライド棚は、ボトルのサイズによっては手前側にスライドできない場合がございます。

◎ 収納物に関する推奨温度と注意事項は右記を参考ください。

ワイン

推奨温度：5℃～16℃

ボトルの直径や形状によって収納本数は変わります。

保管時の注意

- 箱状のものは保管しないでください。過冷却や故障の原因となります。
- 缶やペットボトルを容積いっぱい詰め込んだ使用はできません。
- 保管する液体の総容量を、上室 63 L以下、下室 64.5 L以下にしてください。
- 瓶、缶、ペットボトルなどの液体以外の保管はできません。
- 収納のしかたによっては、冷却性能が低下し、内容物の品質に影響することがあります。
- 風の吹き出し口に缶などを置かないでください。

例 上室：ワイン 750ml 84本、下室：ワイン 750ml 86本など

ワイン収納棚(ソフトクローズ機構)について

◎ 本製品の収納棚は、すべての段に「ソフトクローズ機構付きスライドレール」を採用しています。
棚を閉める際、最後まで押し込まなくても自動的にブレーキがかかり、ゆっくりと静かに閉まります。

■ 棚の使い方

- 引き出すときは、棚の手前（木枠部分）を持ち、ゆっくりと手前に引き出してください。奥に収納したボトルもスムーズに出し入れが可能です。
- 閉めるときは、棚を奥に向かって押し込んでください。残り数センチのところソフトクローズ機構（ダンパー）が働き、自動的にゆっくりと引き込まれて閉まります。

■ 使用上の注意（必ずお守りください）

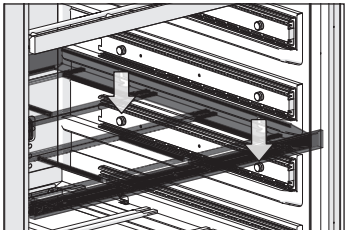
- 棚を引き出す際は、ドア内側のパッキンを傷つけないよう、必ず扉を全開にしてから引き出してください。
- ソフトクローズ機構が働く位置から、さらに無理な力で勢いよく押し込まないでください。レール内部の部品（ダンパー等）が破損したり、ボトルが激突して割れたりする原因になります。
- 手前に重心が偏り、製品が転倒する恐れがあります。棚を引き出す際は、必ず「1段ずつ」行ってください。
- 棚1段あたりの最大耐荷重は25kgです。制限を超えてボトルを載せたり、引き出した棚の上に手をついて体重をかけたりしないでください。レールの変形や落下の原因となります。

棚の取り付け方・取り外し方

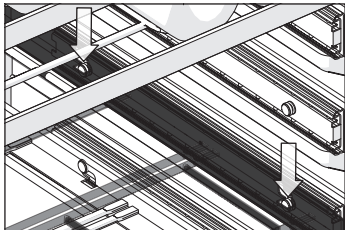
※安全のため、作業を行う前に必ず棚に収納されているワインボトルをすべて取り出してください。

■ 棚の取り付け方

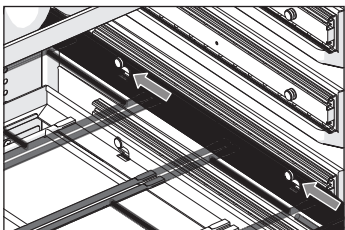
① 棚を庫内の取り付け位置へ移動させます。
左右のレールの位置を確認し、棚を水平に保ちながら挿入する準備をします。



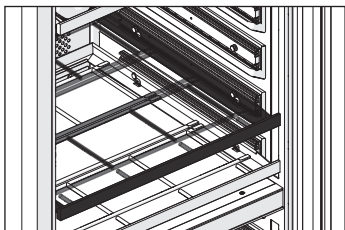
② 棚を上からレールの突起に向かってゆっくりと下ろします。棚側の前後の溝（垂直に開いている部分）が、レールの突起に重なるように位置を合わせて下ろしてください。



③ 棚をゆっくりと手前に引き出します。
レールの突起が溝の奥へスライドし、フック部分にカチッと落ち込んでしっかりと固定されます。



④ 取り付け完了。
しっかり固定されたことを確認したら、取り付けは完了です。



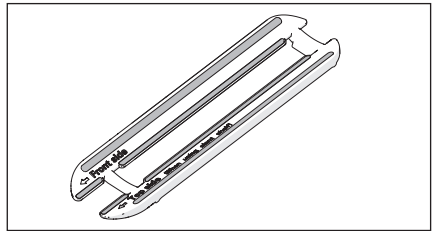
■ 棚の取り外し方

- ① 棚を手前まで引き出します。
- ② 棚全体を少し上に持ち上げます。（※この時点ではまだレールの突起からは外れません。）
- ③ 持ち上げた状態を保ったまま、棚を少し奥へ押し込みます。（レールの突起が溝の出口部分へスライドします。）
- ④ そのまま棚全体をさらに上に持ち上げて、レールから完全に取り外します。（※この時点ではまだレールの突起からは外れません。）

ボトルクレードルの取り付けと使い方

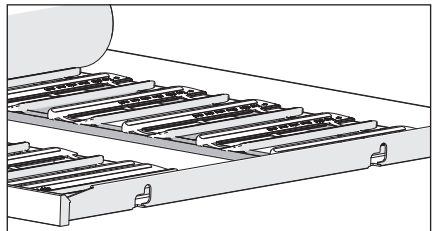
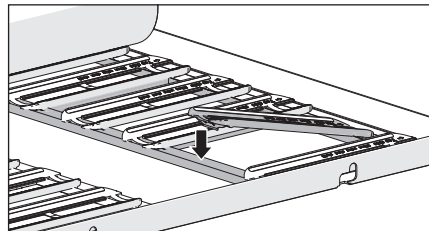
■ ボトルクレードルの特徴

クレードルの上面には、振動吸収用のゴムが取り付けられています。これにより、棚をスライドした際のボトルの安定性が向上するだけでなく、扉の開閉や製品動作時の振動がワインに伝わるのを軽減します。



■ クレードルの取り付け方

棚のフレーム（骨組み）に合わせて、クレードル底面にある「爪部」をカチッと引っ掛けてはめ込みます。

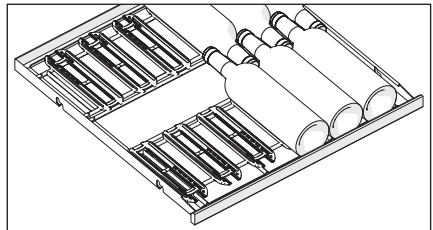
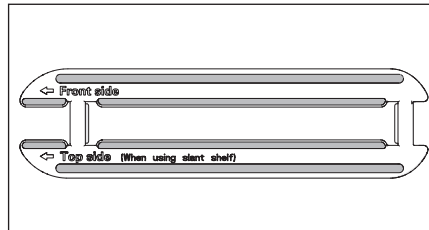


■ 収納方法に合わせた「クレードルの向き」

クレードルには前後の向きがあります。収納スタイル（フラット／傾斜）に合わせて、クレードルに刻印されている文字を確認し、正しい向きで取り付けてください。

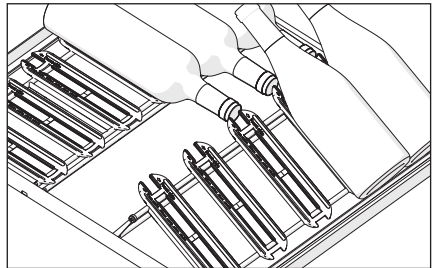
フラット（水平）に収納する場合

ボトルの底面側（手前側）に、「Front side」の文字が来るように設置してください。



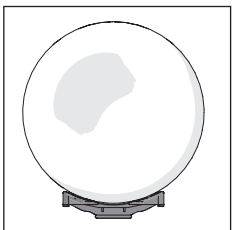
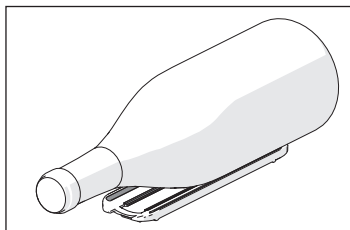
傾斜させて収納する場合 ※棚Bのみ

ラベルを見せるディスプレイ目的などで、ボトルを斜めに収納する場合は、コルク側に「Top side (When using slant shelf)」の文字が来るように設置してください。



■ クレードルへのボトルの乗せ方

棚にクレードルを正しくセットしたら、クレードルのカーブ（くぼみ）に合わせて、ワインボトルの胴体部分を静かに乗せてください。
ボトルの丸みがクレードルにしっかりとフィットすることで、引き出し時の横転がりを防ぎ、安全に保管することができます。



使いかた

ワインボトルの収納方法

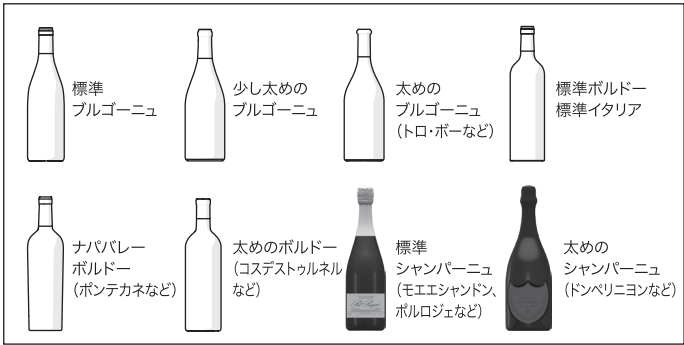
ボトルサイズの目安

- 収納本数は、一般的なワインボトル(ボルドー、太めのブルゴーニュ、スパークリングなど直径90mmまで)で計算しています。
- ワインボトルの高さは300mmを想定しています。高さ330mmまでのワインボトルは収納可能ですが、収納本数が減る場合があります。
- 棚は鉄製ワイヤーで作っているため完全な直線形状ではございません。棚にものを載せていない状態の場合、左右に「浮き」がある場合がございますが、棚にボトルなどを載せることで安定します。

◆ボトルサイズの目安

種類	幅(mm・およそ)	高さ(mm・およそ)
ボルドー	75	300
DRC	86	300
ブルゴーニュ・ローヌ	82	300
太めのブルゴーニュ	89	300
アルザス・ドイツ	74	330
シャンパーニュ	89	320
マグナムボトル	100	330
ハーフ	62	240

◆ボトルの形



収納方法

※ボトルの形状やサイズによって、実際の収納可能本数は変わる場合があります。

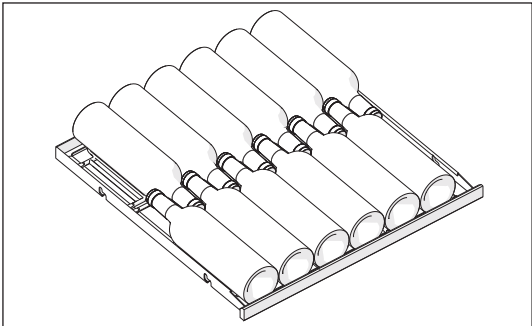
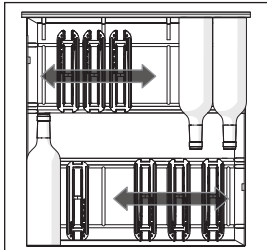
前後収納（最大12本収納）

ボトルを前後(縦方向)に並べて収納する、標準的な方法です。
棚1枚当たり、最大12本まで収納できます。

●ボトルの位置調整について

ボトルの太さに合わせて、クレードルを棚のフレーム上で左右(横方向)にスライドさせ、ボトル同士がぶつからないように調整してください。

※クレードルをスライドさせる場合は、必ずワインを取り出した状態で、クレードルのみを移動させてください。ワインを載せたままスライドさせますと、クレードル破損の原因となります。



横向き収納（最大10本収納・ラベル見せ）

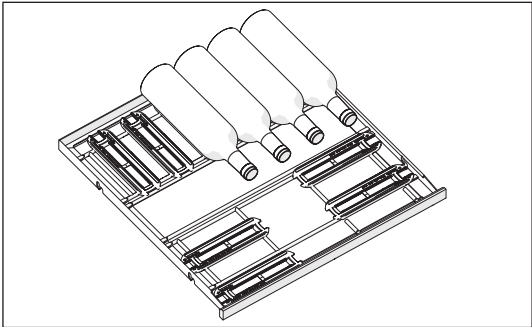
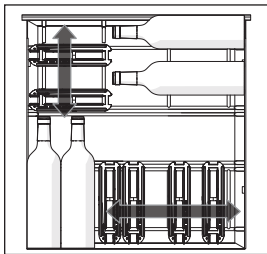
棚の前半分にボトルを横向き(水平方向)に配置し、ワインのラベルを見せながら収納する方法です。

棚1枚当たり、最大10本まで収納できます。

※前半分の横置き収納本数は、棚Aが最大4本、棚Bは可動部がある関係で最大3本となります。
(棚B全体での最大収納本数は9本となります)

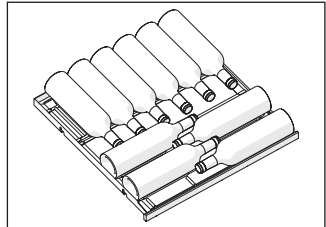
●ボトルの位置調整について

前半分(横置き部分)のクレードルは、前後方向にスライドさせ、安定する位置に調整してください。

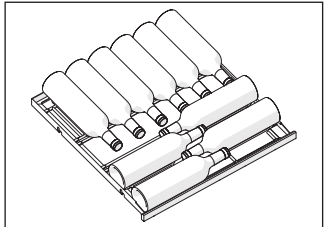


ボトルの配置バリエーション

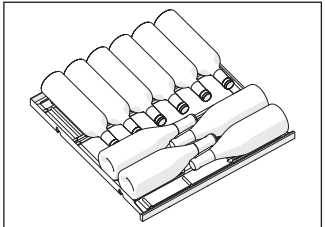
ボトルの向きを左右どちらにするか調整できます。



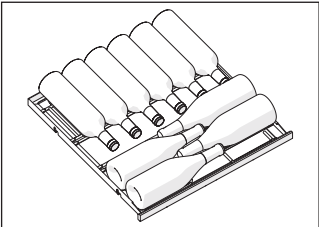
ボルドー型:ネック左向き



ボルドー型:ネック右向き



ブルゴーニュ型:ネック左向き



ブルゴーニュ型:ネック右向き

傾斜収納（棚Bのみ・ディスプレイ収納）

「棚B」を使用すると、ボトルを傾けてラベルを見せる「傾斜収納」が可能です。

棚Bの設置位置	上室:3、5、7段目 / 下室:2、4、6段目
---------	-------------------------

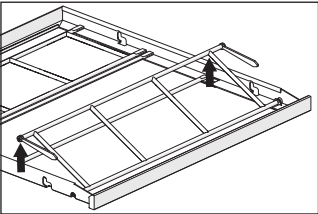
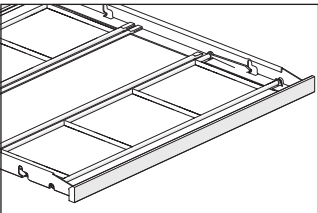
棚Bを傾斜仕様に変更する手順

※作業は必ずボトルをすべて取り出した状態で行ってください。

※収納の際は、必ずクレードルの「Top side」をボトルのコルク側に向けてセットしてください。

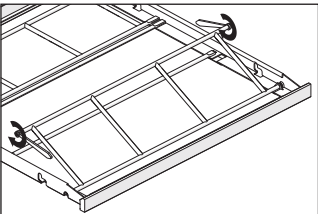
①ワイヤー部を持ち上げる

棚の前半分にある可動式のワイヤー部を、上に持ち上げます。



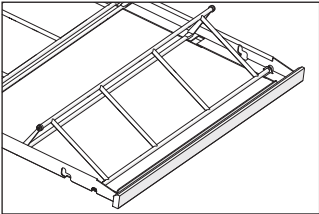
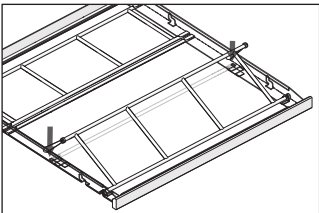
②支柱を回転させる

持ち上げたワイヤー部の両端にある支柱を、下方向へ回転させます。



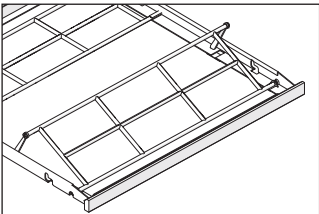
③穴に差し込む

回転させた支柱の先端を、棚フレームの左右にある穴にしっかりと差し込みます。



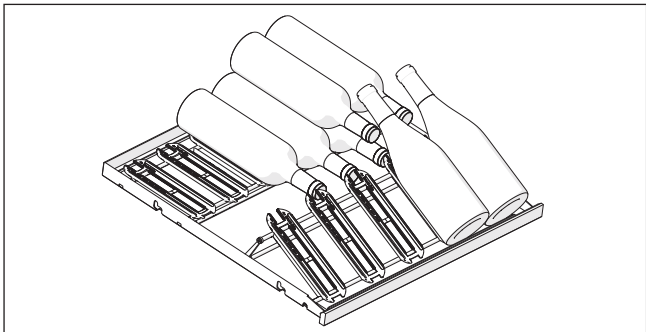
④完成

ワイヤーがしっかりと固定され、ぐらつきがないことを確認できたら完成です。



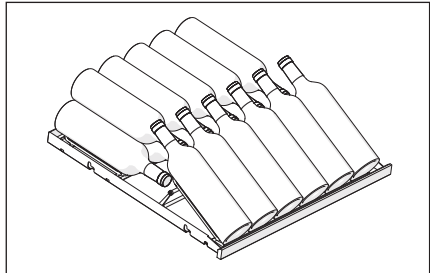
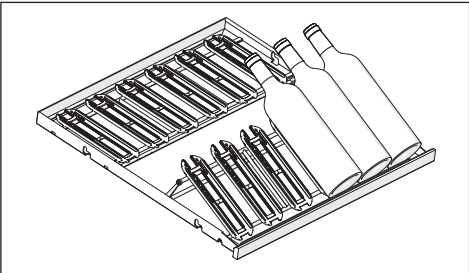
傾斜時のボトルの収納方法と本数

傾斜させた「前半分」と、その後ろの「後半分(水平部)」に収納します。

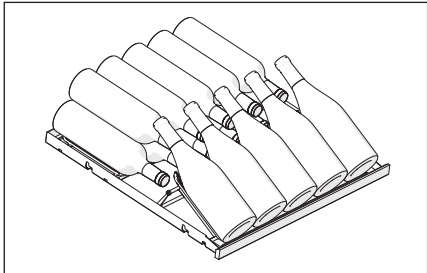


●前半分(傾斜部)への収納

ボトルの種類によって収納本数が異なります。



ボルドーボトルの場合：最大6本収納可能



ブルゴーニュボトルの場合：最大5本収納可能

●後半分(水平部)への収納

前方の傾斜したボトルの後ろ側のスペースには、ボトルを水平方向に2段積みにして収納できます。(最大11本)



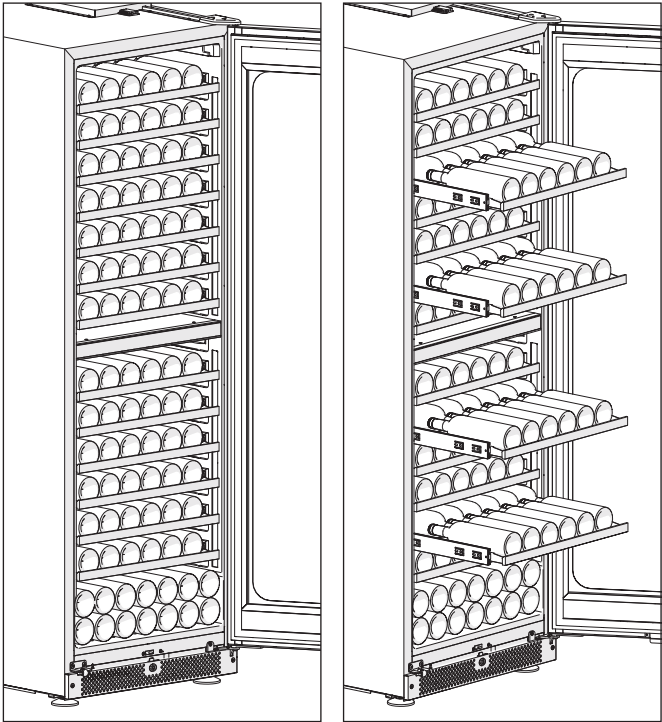
【重要】 後半分での2段収納(重ね置き)は、必ず「ボルドーボトル」のみで行ってください。

収納本数の目安

全段を各収納方法で統一した場合の収納本数の目安は以下となります。
※ボトルの形状やサイズによって、実際の収納可能本数は変わる場合があります。

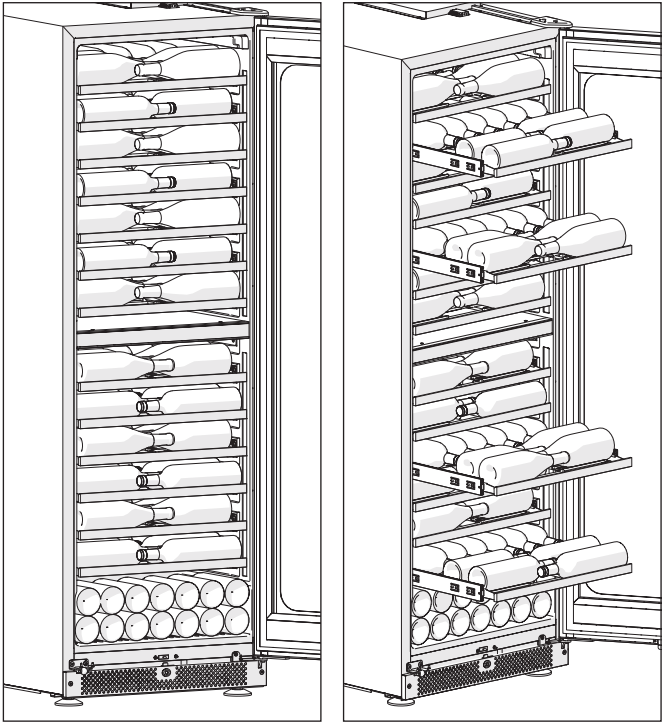
前後収納 ◆ ボルドーボトルの場合

最大 **170** 本 ●上室(84本):12本×7段
●下室(86本):12本×6段+7本×2段(最下段)



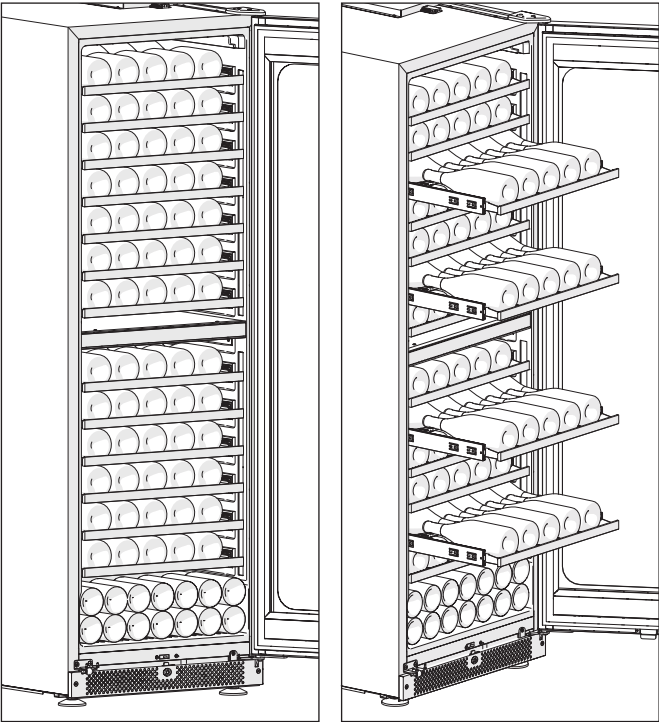
横置き収納

125本～138 本



前後収納 ◆ プルゴーニュボトルの場合

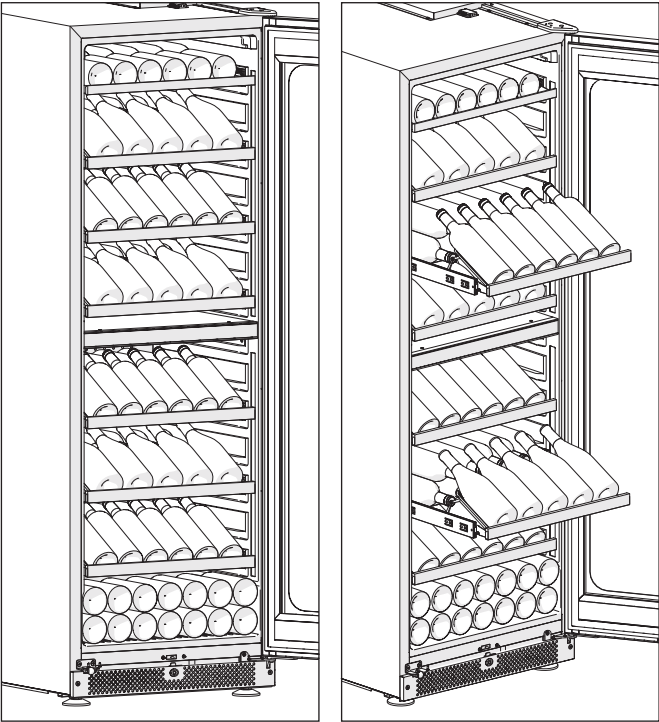
最大 **144** 本 ●上室(70本):10本×7段
●下室(74本):10本×6段+7本×2段(最下段)



※ 下室の最下段はボトルを2段に重ねて収納する構造のため、バランスが崩れやすいプルゴーニュボトルではなく、必ずボルドーボトルを収納してください。(荷崩れや落下の原因となります)

傾斜収納

120本～128 本



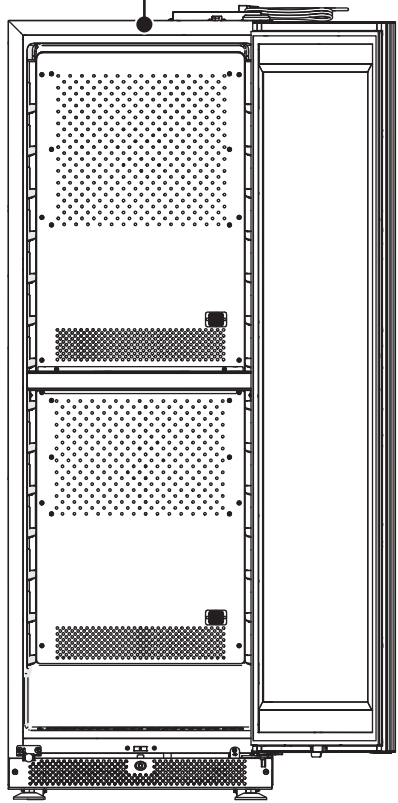
警告

⊘	● 上段部分に集中して保管しないでください。 荷重が上に掛かりすぎると転倒しやすくなります。
⊘	● 一度に複数の棚を引き出さないでください。 手前に重心が偏り、製品が転倒してケガや破損の原因となります。必ず1段ずつ引き出してください。
⊘	● 棚を引き出したままの状態、モノを収納することはしないでください。 モノが落下して、破損、ケガなどのおそれがあります。
!	● 扉を開けたまま使用しないでください。 水分過多になり、水漏れが発生する原因になります。
!	● 扉の開閉頻度は最小限でお使いください。 頻繁に圧縮機が動くことで、製品の耐久性や電気代に差が生じます。庫内の温度も不安定になります。扉開閉時の振動が最もワインに影響します。 ※圧縮機やファンの振動はワインに伝わらない設計です。
!	● ボトルのエチケットなどは、ラップなどを巻いて保護してください。 使用環境や季節、設定温度によっては、ビンテージワインのコルクやラベルにカビが繁殖したり、ワインのボトルに結露が発生する場合があります。あらかじめ、ラップなどでラベルを保護してください。
!	● 棚がガラスに当たらないよう所定の位置にセットされていることを確認してください。 棚が前側に飛び出していると、ガラスに当たり、ガラス破損の原因となります。
!	● 棚の最大耐荷重(25kg)を守る 棚1段あたりの最大耐荷重(25kg)を超えてボトルを収納しないでください。棚の変形や落下の原因となります。
!	● 引き出した棚に体重をかけない 引き出した棚の上に手をついたり、寄りかかったりしないでください。レールが破損し、ケガやワイン落下の恐れがあります。
!	● 奥の壁面にボトルを接触させない ボトルを収納する際、庫内奥の壁面に直接触れないようにしてください。ボトルに結露したり、過度な冷却によるワインの変質の原因となります。
!	● クレードルの正しい使用 ボトルは必ず付属のボトルクレードルに合わせて安定した状態で収納してください(下室の最下段以外)。 不安定な置き方をすると、棚を引き出した際にボトルが転がり、破損する恐れがあります。

注意喚起の内容	マーク	やってはいけないこと	起こりうるおそれ
ボトルの保管	!	瓶の上にさらに瓶やものを置かない。 瓶を2段以上に多段積にして、重ねて保管しない。 ※ボルドーボトルは除く。	● 冷却性能や冷えの低下。 ● 結露水発生による水漏れ。 ● ドアを開けた際に、水滴のついた滑りやすいワインボトルが足元に落下することで、破損、けがをします。
ボトルの縦置き	!	密閉されていないボトルの縦置き。	● 破損・ケガのおそれ

庫内温度を設定どおりにしたい

- ① 設定したい温度表示にならない。
- ② 製品の表示温度と、お客様が準備された外部の温度計の表示温度に差がある場合。



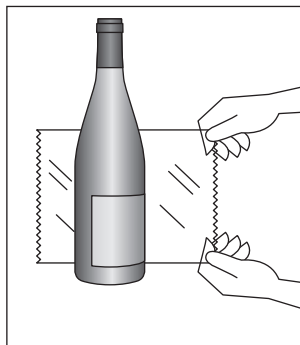
これって冷却不良？

庫内温度差は内容物や収納方法によってばらつきが出ることがあります。

温度差がある場合、庫内を「からの状態」にして、設定温度5℃で試運転（3～6時間程度）してみてください。庫内が「からの状態」で、設定温度どおりの温度表示となる場合は、正常な運転をしています。正常運転でもうまく設定温度とならない場合、以下のような要因が考えられます。

- 製品の表示温度と、庫内にお客様ご自身で準備された温度計の表示温度が、異なる場合があります。弊社では様々なタイプの温度計でテストし温度表示にバラツキが出ないよう独自の温度制御をしていますので、市販の温度計とは最大で4～5℃程度、表示温度に差がでることがあります。
- 次のような場合は、庫内表示（温調センサー温度）と外部温度計（お客様にて準備された温度計）の表示に差がでます。
 - ◆ お客様の準備された温度計が一般的に市販されている室内用温度計である。（温度センサのタイプや温度の表示プログラムが違うので表示温度に差が出やすい。）（室内用は、5℃以下の低温時には特に温度差が出やすい。）
 - ◆ 外気温が高い。（30℃以上ある。）
 - ◆ 十分な放熱スペースが確保されていない。
 - ◆ 棚を抜いて瓶や缶を積み上げて保管している。
 - ◆ 内容物が通気口を塞いでいる。
 - ◆ 扉を頻繁に（1日4～5回以上）開け閉めする。または、扉が開いていた。
 - ◆ 缶などを立てた状態で保管している。
 - ◆ 常温以上の温度を持つものを入れている。
 - ◆ 瓶・缶・ペットボトル以外の液体、または液体以外のものをいれている。
 - ◆ 中にものを詰め込みすぎている。（液体の容量が多すぎる）
 - ◆ その他所定の使いかたに記載されていないご使用や保管方法をされている。

ワインのエチケット（ラベル）を綺麗に保ちたい



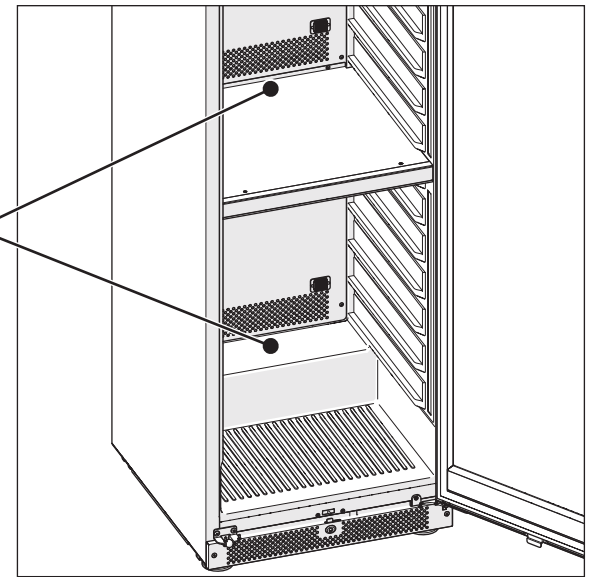
カビや高湿度によりラベルの傷みから守ります。

製品の庫内は高湿度になっています。（平均60%以上）高い湿度の中では、コルク周辺やラベル、瓶などに付着しているカーヴ由来のカビ孢子が繁殖しやすくなります。また、水分でラベルが濡れてしまうこともありますので、あらかじめボトルを乾拭きし、ラップなどでラベルやコルク部分を巻いておくことで、カビの繁殖を抑えることができます。

庫内を加湿したい場合

上室・下室それぞれの下部奥にある「冷気の吸い込み口」付近に、水を張ったトレイやバットなどを置いていただくと、庫内の湿度を上げることができます。

水を張ったトレイやバットなどを置いてください。



できるだけ加湿したい

- 一年を通して基本的には、加湿不要（特に3月から11月）ですが、状況や環境によって水を補うことが可能です。
- トレイやバットなどを注いだ水を棚に置くだけでは、自然蒸発となりほとんど加湿されません。水分を蒸発させて庫内の湿度を上げたいときは、風の流れのあるところに水を置いて、強制蒸発させることがポイントです。

※ 庫内の棚などに水を張ったトレイなどを置いても、蒸発時間に時間がかかりますので庫内の湿度はほとんど上昇しません。

湿度に関する当社の考え

当社ではワインに必要な「湿度」は1年を通じて平均湿度が60%以上もある日本において、あえてそれ以上の加湿をすることは不要と考えています。

そこは日本の四季が持つ元々の特徴に委ねてみてはいかがでしょうか。

むしろ、ワインの熟成には「温度変化」が重要と考えています。液体の体積は、温度変化により変わります。つまり、体積の変化とは、ワインによって「呼吸」することと信じており、その変化が熟成を促すと思っています。コルクの常時高湿状態は、コルクの密閉性が増すため、外部の空気の侵入を防ぎ、ワイン特有の酸化還元熟成の妨げになると考えています。

従いまして、わざわざお手をわずらせて湿度を補うことはお客様にはお勧めしておりません。

当社製品にワインを保管していただくと、ほとんどすべての場所で設定に近い温度が得られます。そのあとは、年間通じて4～6℃程度の温度差（使いかた13ページの温度変化表を参照）をつけて保管していただければ、数年後、お客様のワインは素晴らしいものになっていると思います。

お手入れについて

いつも清潔にお使いいただくために定期的なお手入れを心がけましょう。

警告

お手入れのとき		お手入れの際に、棚にものを置いたままで作業しない。
		掃除、点検の際は、必ず電源プラグを抜く。

お手入れのコツ

汚れたらすぐ掃除しましょう	庫内	● 庫内の汚れは冷気で固まる前に、また湿気でカビが発生する前に、さっと拭いてしまいましょう。特に、ワインなどの果汁成分は、内箱のプラスチックの変形や変色の原因になります。
	ガラス	● ガラス表面の指紋や汚れなどが落ちにくいときは、台所用の洗剤（中性）などを薄めて汚れを拭き、仕上げに水拭と乾拭きをしてください。
	本体	● 天面、側面、背面、棚は、ホコリや汚れを取り除き、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布で拭いたあと、乾拭きで仕上げてください。
	ドアパッキン	● ドアパッキンは汚れを取り除き、ぬるま湯で湿らせた柔らかい布で拭いたあと、乾拭きで仕上げてください。 （汚れていると痛みが早くなり、冷気漏れの原因になります。）
	コンセントなど	● ホコリが溜まると電気の無駄使いになります。コンセント、製品の周囲（背面、底面、側面）などの隙間に溜まったほこりを取り除きましょう。
年に1回は見えないところも	庫内	● 食用油などが付いたままだと、プラスチックが割れることがあります。 庫内やラックなどにカビが発生する場合がありますので、年に1度は庫内や棚も乾拭きしてください。

お願い

	● 湿らせた布は固く絞ってください。 水分が隙間にはいることによる電気部品の故障原因
	● ガラス扉の表面、端面には衝撃を与えないでください。 ガラス破損の原因
	● お手入れに次のものは使わないでください。 みがき粉／粉石けん／アルカリ性洗剤／ベンジン／シンナー／アルコール／石油／熱湯／酸／たわし／台所用洗剤（中性以外）／ ガラス用洗剤／塩素系漂白剤

お手入れ後の安全点検

チェックポイント

- ☐ 安全上の注意を確認しましたか？
- ☐ 据え付けに不備はありませんか？
- ☐ 電源コードに亀裂や擦り傷がありませんか？
- ☐ プラグがコンセントにしっかり入っていますか？
- ☐ プラグに異常な発熱はありませんか？

こんなときには

こんなときには	以下のようにご対応ください
停電のとき 冷えなくなり修理などを 待っているとき	● 冷気を逃がさないため、ドアの扉の開閉をできる限り少なくしてください。 ● 新たな食品の保存は避けてください。 ● 保冷剤などをタオルなどの布で包んで入れてください。 ● 下記の目安を参考に、庫内の温度を維持してください。
長期間使わないとき	● 必ず電源プラグを抜いてください。 ● 庫内清掃後は、カビやにおいを防ぐため、2～3日間は扉を開けてください。 ● 庫内水受皿および、庫外排水皿の水を抜いてください。（10ページ参照）
廃棄処分・リサイクルするとき	● ドアパッキンをはずしてください。 ● 廃棄時には、販売店や市町村に引き渡してください。
電源プラグを抜いたとき	● 再び電源を入れるときは7分以上待ってから差し込んでください。 （すぐに差し込むと圧縮機に負荷がかかり、故障の原因となります。）
庫内灯が点灯しないとき	● お買い上げの販売店にご相談ください。
ガラスが割れたとき	● 全面をテープなどで固定し、ガラスが崩れ落ちないように応急処置をしていただき、販売店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。その際、できる限りガラスには触れないでください。
移動、引っ越し、運搬するとき	● 移動時は、床を傷つけないよう、保護用の板、マットなどを敷いてください。 ● 10ページの「移動・運搬するとき」をご確認ください。

温度表示・設定温度について

- 表示部には庫内温調センサの「現在温度」が表示されます。
- 温調センサは、庫内の奥側に取り付けられています。できる限り庫内温度を均一化するように設計していますが、内容物や設置環境、ドアの開閉頻度などによっては**庫内の温度差が3～5℃程度生じる場合がございます。**
詳しくは『使い方のコツ』23ページの「**庫内温度を設定どおりにしたい**」をご確認ください。
- 表示温度は、設定温度に対して±2℃程度で頻繁に切り替わります。正確な現在温度を表記するため、表示部分を実温度にしているためです。不具合などではございませんので、ご安心してお使いください。
- 庫内の温度変化(空気の温度)とワインの温度変化(実際の液体)は短期的(数時間程度)には一致しません。**
庫内の温度(空気の温度)大きく変わっても、ワインなど内容物の温度(液体の温度)はもっと緩やかな時間をかけて温度変化していきます。
庫内温度表示が±2℃くらいの間で頻繁に切り替わっても、液体の温度変化には影響しませんのでご安心ください。
- 庫内の温度は、収納されているボトルの量や冷気の流れの影響を受けるため、上下・左右・前後のどのポイントを測るかによって常に変動しています。
- 温調センサの種類によって製品の表示温度と最大5℃程度の温度差が発生するため、市販の温度計を庫内に入れて温度を測る場合は、目安としてお考え下さい。
- 設定温度は低いほど頻繁に表示が変わります。庫内の一次的な温度が変化があっても、内容物の液体の温度には、短時間では影響しませんのでご安心ください。

低外気温時の温度のふるまいについて

設定温度が外気より高い場合(真冬などの低外気温時)には、設定温度よりも低い温度が維持されやすくなります。
たとえば、外気温が10℃を下回るような環境下で、設定を20℃とした場合、庫内の温度表示は15～17℃と表示されやすくなります。このような環境では、冷却運転をせず、加温ヒーターを用いて温度を上昇させますが、冷却制御との関係で、加温ヒーターが作動する温度は、庫内の温度が設定温度より2℃～3℃低い状態が一定時間経過したときになるためです。真冬の外気温は、マンションだと14～16℃、戸建て住宅だと8～10℃くらいといわれます。
20℃前後の保管をお望みの際には、室内をある程度暖かくしておく必要があります

湿度について

冷却運転中(圧縮機が「ブーン」と動いており、且つ側面や背面が熱いとき)に、湿度は一時的に低くなります。
(これはコンプレッサー式の製品の特長ですが、庫内の湿度環境、ワインの保存環境には影響しませんのでご安心ください。)

- 湿度は、年間通じて平均的に60%以上に保つように設計していますが、外気の湿度に依存しやすいため乾燥時期には庫内湿度も低くなります。特に冬場は(11月～3月)湿度が上がりにくくなります。
- 湿度の値は相対的なものですので、温度によって同一の水分量でも表記数字が変わります。つまり、同じ水分量でも、気温が低い場合には、湿度が高く表記されます。ワインにとっては、十分な水分量でも、温度と相対的な湿度の数字は低く表示されることがあります。一時的な低湿度状態でも、それが数日から数か月程度の短期的なものであれば、ワインに影響することはありません。また、ワインのボトルを寝かせている場合は、ワインによりコルクの乾燥を防げますので、年間平均60%程度の湿度を維持できれば、ワインの保管状態に影響はないと当社では考えています。
- 設置環境や温度によっては庫内湿度が90%を超える場合があります。ボトルに結露が生じやすくなりますので、ワインなどのラベルを保護するため「ラップ」などを巻いて保管する(『使い方のコツ』23ページ参照)ことをお勧めしています。
- 常時高湿度状態をお求めになるお客様は、『使い方のコツ』24ページの「庫内を加湿したい場合」を参照ください。

作動音・放熱について

圧縮機 の 作 動 音	「カチ」「ポン」「ピン」などという音と共に、「ブーン」「ゴー」というような音で圧縮機(コンプレッサー)が作動します。 これは冷却運転中の作動音です。 停止時にも「カチ」「ポン」といった音が鳴ったあと、停止します。この音の出处は、製品の背面下側のカバー内に格納された圧縮機によるものです。
ファンの回転音	庫内および本体下部には役割の異なる2種類のファンが搭載されており、それぞれ回転音が発生します。 ① 空気循環用ファン(庫内) 庫内の空気を循環させるため、常時作動しています。やや甲高い音が特徴で、扉を開けている間は常に聞こえてきますが、扉を開けると自動的に止まります。(設置環境によっては聞こえない場合もあります。) ② 排熱ファン(本体下部) 圧縮機の運転に連動して作動するファンです。作動中は、製品下部に設置された圧縮機と放熱コンデンサーの熱を逃がすため、前面下部(排気口)から温風が出ます。これは正常な放熱運転によるものですので、ご安心ください。
冷媒が流れる音	冷媒配管の中には「冷媒ガス」が流れています。常に気体、液体へと変化し配管内を流れています。 流れる場所によって、「ゴー」、「シャー」、「コボコボ」「ピチャピチャ」といった冷媒の流れる音が聞こえる場合があります。

圧縮機の冷却運転時間が長くなり、環境によって音が大きく聞こえることがあります。

- 使いはじめのとき。(内容物と外気温などによって、2～3日冷却に時間を要することがあります。)
- 外気温が高いとき。
- 設定温度が低いとき。
- 扉の開閉頻度が多いとき。
- 大きな冷却能力を必要とする場合。
- 内容物の温度が高いとき
- 沢山のものを入れたとき

水漏れについて

【水が漏れてきた際】 以下をご確認ください。

- ☐ 設置・据え付けに不備はありませんか？
 - ☐ 前脚を5mmほど上げてご使用いただいていますか？ 【設置据え付け方法 8ページを確認ください。】
 - ☐ 直近ドア開放アラームが鳴っていたことはありませんか？ 【ドアは数分以上継続して開くと警報音でお知らせします。】
- 上記をすべて確認の上、2～3日様子を見てください。

【庫内側・背面側からの水漏れの原因】

- 外気の取り込みすぎによる冷却器の霜付き
- 外部環境(気温と湿度が高いこと。6～9月頃)
- 設定温度(低い温度であればあるほど、冷却時間が長くなり外気の水分を大量に使うため)
- ドアの開放時間が長い、頻繁な開閉(ドアを開けたまま冷却運転をすると多量に外気を取り込んでしまうため)
- 製品の傾き(前傾になっている場合)

ドア・本体の結露について

ガラスドアは、右記の仕様を満たすガラス性能になっています。お使いの環境が、右記環境を超える水分量を含んでいる場合、ガラスの表面に結露が発生することがあります。

設定5℃以上／外気温30℃ 外気湿度70%
空気中の水分量 約21g/m³

季節や使用環境などで、外気に含まれる水分量が一時的に非常にも多くなる場合、ガラスの表面には結露が発生しやすくなります。例えば、外気温32℃ 湿度75%のとき、空気中の水分量は約25g/m³にも達しますので、そういった環境でご使用するには特に注意が必要です。(冬場でもお風呂の湯気が回ってくるなどにより、一時的にガラス表面が曇ります。)

結露水が床にこぼれることがありますので、対処方法としては、以下の対処方法を推奨しています。

- ① 設定温度を上げる
- ② ドアの下部分に雑巾など水受用の敷物をする
- ③ 扉サッシ用などの結露水防止テープで一時的な結露水の防止処置をする
- ④ 扇風機の風を当てるなどしてワインセラー周辺の風通しを良くする

よくある症状

においについて

においの原因は、内箱に使っている樹脂などのプラスチック臭によるものです。軽減する対応策がありますので、お試しください
いただきますようお願い致します。においが内容物に移るような心配はありません。

- ① 薬局で市販されているエタノール(アルコール)を50%程度に薄めて、庫内全体や棚を拭く。
- ② 庫内を拭いた後、風通しの良い場所で扉を開けたまま換気する。
- ③ 通電するときににおいが軽減されるので、しばらく通電し続け、気になるようなら空の状態の数日間通電する。
- ④ 冷蔵庫用の脱臭炭を設置する。あるいは販売店には独自に冷蔵庫用の木炭や竹炭を準備しているケースがあるので、販売店様にご相談する。

※市販の木炭や竹炭を置いておくだけでも脱臭効果があります。

カビや菌の発生について

製品の内箱や庫内などにカビや菌が繁殖することがあります。製品は、ワインの熟成のためにもつくられていますので、庫内の湿度は一般的な冷蔵庫などに比較すると、最大40～60%も高い高湿度状態が維持できるようになっています。製品の最も特長的な性能の一つですので、製品の制御などでカビを抑えることはできません。カビの繁殖を止めたいときは、『使い方のコツ』23ページの「ワインのエチケツト(ラベル)を綺麗に保ちたい」をご参照ください。

カビの繁殖は、高湿度状態が保たれていれば起こることが多い自然な現象です。特に古いビンテージで、過去に高湿度で保管された状態の良いワインであれば、カビの胞子がエチケツト(ラベル)、瓶、コルク周辺などに付着していることが多いものです。そういったワインをラップなどでエチケツトを包まずに保管すると、庫内にカビが繁殖することがあります。また、日本酒も発酵させて作られるお酒ですので、瓶周辺にこぼれた液で、庫内に菌を繁殖させることがあります。

カビや菌は悪くて不潔なイメージがありますが、ワインのラベルから発生するカビは、一概にそうとは言い切れないことがあります。フランスなどの有名なカーヴやドメーヌでは、高湿度状態(ワインにとって最適な環境)であることを証明するために、その歴史の分だけ数十年から百年以上もカビを積み上げているというところもあるそうです。

一次的なカビの繁殖は、製品の庫内がワインにとっては最適な環境であるという裏付けでもあります。もし、これらが発生したら、乾いた布で乾拭きするなどして、さっと掃除してください。一度発生カビなどが発生すると、その後カビが生じやすくなりますので、一度庫内から内容物をすべて取り出し、お手入れの方法(25ページ)をご確認の上、庫内を清掃してください。(カビの胞子が庫内の各所に飛散していることがあります。)

本体の熱について

冷却運転中、前面下部の排気口(放熱グリル)から内部の熱を排熱するため、温風が出ます。
使いはじめや、新たにワインを収納したとき、または夏場などの設置環境によって、冷却運転時間が異なります。冷却に要する運転時間が長くなるのに応じて、出る温風の温度が少し高くなる傾向がありますが、製品の正常な放熱運転によるものですので、安心してご使用ください。

故障かな?と思ったら

webサイトにて更新していますので是非ご参照ください。
https://sakura-wks.com/support/contact/help/



故障かな?と思ったらお問合せの前に、以下の点をご確認ください。
また設置環境によっては、故障していなくても電波干渉や電源電圧の一時的な増減などの外的要因により、一時的な動作不良が生じる場合があります。一度コンセントを抜いて、5分ほど置いてから再度通電していただき、症状が変わらないことを確認してください。

下記をご確認いただき、それでも具合が悪い場合は、直ちに使用を中止し、
お買い上げの販売店または、当社サポートセンターまでご連絡ください。

症 状		確認事項	原因・解決方法
まったく冷えない		電源は供給されていますか？	同じ電源で他の電化製品が動作するか確認してください。
		ご家庭用の電源ヒューズやブレーカーに問題はありますか？	
		停電ではありませんか？	
		コンプレッサーは運転していますか？	冷却運転時にはコンプレッサーが作動し、ブーンという運転音がします。電源を入れなおして、コンプレッサーが始動するか確認してください。音については、よくある症状（28ページ）の作動音の項目をご参照ください。
		表示部分にエラー表示が出ている。	当社サポートセンターまでご連絡ください。 なお、警告音は、画面のどこかをタッチすると解除できます。
冷え	よく冷えない	一度、内容物を冷蔵庫などに移動し、庫内を「からの状態」にしてから、温度を5℃に設定し試運転する。	表示温度が設定温度通りを表示すれば、異常はありませんので、使い方のコツ23ページ「庫内温度を設定どおりにしたい」をご確認ください。
		設置直後ではありませんか？	周囲環境や設定温度によっては、冷えるまでに24時間～48時間以上かかる場合があります。
		設定温度は何℃ですか？	設定温度が低い場合は、外部環境によって通常より多分に時間がかかる場合があります。
		設定温度と市販の温度計とに誤差がある。	温調センサの種類によって製品の表示温度と最大5℃程度のかい離が発生するため、市販の温度計を庫内に入れて温度を測る場合は、目安としてお考え下さい。詳しくは、よくある症状（27ページ）の「温度表示・設定温度について」の項目をご参照ください。
		扉が半開きになっていませんか？ 内容物が引っかかっていませんか？	扉がきちんと閉まっていることを確認してください。製品の手前側を高くして設置することで、扉の密着度が増します。
		内容物をつめすぎていませんか？	隙間なく収納すると、冷気が循環せず冷えが悪くなります。
		新しい内容物を収納して十分な時間が経っていますか？	周囲環境や設定温度によっては、冷えるまでに24時間以上かかる場合があります。
		周囲温度は適正ですか？	本製品は、5～32℃で使用できます。 外気温が高い場合には、冷えが悪くなります。
		熱気のそばや、直射日光が当たっていませんか？	ストーブなど熱気に近い場所、直射日光が当たると冷えが悪くなります。
		放熱スペースは十分に確保されていますか？	放熱スペースは設置据え付け方法（7ページ）を確認ください。

故障かな？と思ったら

症 状		確認事項	原因・解決方法
設定温度	表示温度が頻繁に変化する	設定温度と表示温度の差は何℃ですか？	庫内の開閉をできる限り減らしてください。 設定温度±2℃程度を目安に表示が頻繁に切り替わりますが、これはコンプレッサーの運転による実温を表示している通常の反応です。
	温度設定ができない	正しい温度設定の方法を確認しましたか？	使いかた(14ページ)を参照の上、正しい設定方法をお試しください。
		パネル表面が汚れたり濡れたりしていませんか？	本製品のコントロールパネルはタッチパネル式です。強く押し込まず、指の腹で軽く確実にタッチしてください。 ※ 爪の先で触れたり、手が濡れている場合、または手袋をしていると正常に反応しないことがあります。 ※ タッチパネルのロックが設定されている場合は、解除してから操作してください。
水・結露	水漏れがする	扉が半開きになっていませんか？ 内容物の入れ替えなどで、長時間(2分以上)扉を開けっ放しにしたことはありませんか？	庫内の密閉性が悪く、外気が大量に流入する、あるいは、運転をし続けた状態で、長時間(2分以上)扉を開放するなどを繰り返すと、庫内に水分が多量に発生します。その結果、排水皿や庫内の水受部分以上の容量の水が作られ、庫外にこぼれ出てしまうことがあります。 詳しくは、28ページのよくある症状の「水漏れについて」を確認の上、扉の閉まりを確認した上で様子を見てください。
		製品の手前側(扉側)が低くなっていませんか？	製品の手前側が低いと、庫内で発生した結露水が庫内より漏れ出す場合があります。設置状況を確認してください。 詳しくは8ページの設置据え付け方法をご確認いただき、必ず前脚を5mm程度高くしてお使いください。
		本体の外側に結露がする。	よくある症状(28ページ)の「ドアの結露について」をご確認ください。梅雨時期などは外側に結露することがありますので、乾いた布で露をふき取ってください。
音	うるさい異音がある	製品から「ピー」という音が鳴っている。	扉が開いていますので、扉を閉めてください。 製品のエラー表示が出ていたら、当社サポートセンターまでご連絡ください。
		設置据え付け方法の通り設置していますか？ 設置据え付け方法のページに設置担当者のサインはありますか？ 据え付けが悪く本体がガタついていませんか？ 本体側面などが壁に触れていませんか？ 製品の周囲に容器などが落ちていませんか？	床が安定していない、水平が取れていない場合は、設置据え付け方法を確認の上、製品を正しい位置に据え付けてください。
		背面の下の方から、 「カチ」「ポン」「ピン」「ギュルル」などという音と共に、「ブーン」「ゴー」「ブー」「キーン」など。	冷却運転中の作動音です。停止時にも「カチ」「ポン」のような音が鳴ったあと、停止します。 この音の出处は製品の背面下側のカバー内に格納された圧縮機によるもので、異常ではありません。

症 状		確認事項	原因・解決方法
音	うるさい異音がある	背面部、または庫内から、 「ブー」「ゴー」「ブーン」「ビー」「ギュルル」など。(扉を開けると動作音が止まる場合)	ファンモーターの動作音です。扉を開けると止まることが特徴です。
		「ピチャピチャ」と水の滴るような音がある。	冷媒が流れる音や庫内で発生した結露水が落ちる音です。
		ドア付近の「ブー」「ゴリ」という音。	ドアパッキングが間口にこすれる音です。 (市販のグリースなどで緩和できます。詳しくは販売店にお問い合わせください)
		作動音が鳴り続ける。	設置環境や内容物によっては圧縮機が冷却のために運転し続けます。
熱	本体が熱い温風が出る	前面下部の排気口(放熱グリル)から温風が出る。	冷却運転中(排熱ファン作動中)は、製品下部に設置された圧縮機と放熱コンデンサーの熱を外に放出するため、前面下部の排気口から温風が出ます。それに伴い排気口付近が温かくなることがありますが、製品の正常な放熱運転によるものですのでご安心ください。
においかビ	庫内にカビが繁殖する	ワインの保存のために高湿度状態を維持する設計となっております。 高湿度状態では、ビンテージワインなどに付着していたカビの胞子が繁殖する場合がありますが、故障ではありません。 29ページのカビや菌の発生についてを参考にお手入れしてください。	
	においがする	においの原因は、内箱に使っているABS樹脂、あるいは棚に使用している木部に防腐用溶剤を塗布しているためです。軽減する対応策がありますので、下記をご確認ください。 ①エタノール(アルコール)を50%程度に薄めて、庫内全体や棚を拭く。 ②庫内を拭いた後、風通しの良い場所で扉を開けたまま換気する。 ③通電するとにおいが軽減されるので、しばらく通電し続け、気になるようなら空の状態で数日間通電する。 ④冷蔵庫用の脱臭炭などの消臭剤を設置する。	
ドアパッキングに隙間がある		新しいパッキングを送付いたしますので、同梱されているマニュアルにしたがって取り替えを行ってください。弊社サポートによるお取替えは有償となります。	

保証規定・アフターサービスについて

保証規定

保証書はこの取扱説明書の裏用紙に記載されています。

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。お読みになられたあとは、大切に保管してください。製品に関する保証は、本保証規定に基づいて実施することをお約束します。

本書に記載されていないこと、本書の内容に即さない、お客様のご判断、ご都合によるご要望には対応できませんので、予めご了承の上、製品をご使用ください。

警告

機械の改造は危険ですので、絶対にしないでください。

改造した場合、取扱説明書に述べられている正しい使用方法と異なる場合、使用上の誤り、製品保証書の紛失などは、メーカー保証の対象外となりますので、ご注意ください。

！	保証書（販売店発行の保証書も含みます）は、必ずお買い上げの年月日と販売店印など、所定事項の記入が必要です。所定事項の記入がない場合、お買い上げの販売店から発行される保証書をお受け取り下さい。
！	万が一、製品の不具合が発生した際、修理訪問時に不具合が確認できない場合は、原因を特定できませんので、適切な処置を講じることができません。そのため、一切の修理をすることはできません。 その場合は、保証期間中であってもアフターサービス技術者を派遣するなどの出張料、また修理時に必要な見積書作成料金などを申し受けいたします。ご了承いただけない場合は、修理、点検などのご依頼についてはご依頼主都合によるキャンセルとさせていただきます。
！	製品は、1点1点手作りで組み立てている工程がありますので、厳密には個体差が出る部分があります。 製品の品質は自社および、国内の工場規格などにに基づき厳密に全数個体管理、記録していますが、ご使用に影響しない軽微なムラ、傷などは製品保証の対象外となります。返品や交換は受付できませんので、予めご了承ください。
！	万が一、冷却に関する不具合があった場合に備えて、保冷剤などを棚1段あたり350～500g程度準備されることをお勧めします。停電時など冷却動作ができない場合にも役立ちます。 詳細は、こんなときには（36ページ）をご確認ください。
！	製品は必ず配送設置業者により2名以上で対応してください。1名以下で対応したり、お客様ご自身で設置された場合は、製品に不具合が起きたり、ケガや破損の原因となります。
！	保証期間の開始日は納品日となります。開梱設置は同日となります。販売店やお客様のご希望で納品数日後に開梱設置される場合、その後外観上の瑕疵などが露見されても保証の対象とならない場合がありますので、ご注意ください。
！	製品の配送設置後に告知されるあらゆる傷、打痕、汚れ、ガタツキなど本体表面上にある、納品時に発見可能な目視できる瑕疵（不具合）は、配送設置完了後（配送業者に対して配送完了印を押印した後）は全て保証対象外となります。外観上の不具合を発見された場合は、設置業者に必ず報告し、受領書にサインをせずに製品の持ち帰りを申告してください。 お客様ご自身の判断でご使用された場合は、交換などに応じることができない場合があります。

保証規定・アフターサービスについて

当社は「サービスのご利用規約」に従ってお客様に製品の修理、点検、保証サービスを提供いたします。

予め、本規約にご同意の上本サービスをご利用くださいますようお願い申し上げます。

サービスのご利用規約はこちらから ▶▶▶



修理対応について

出張修理は、一部の遠隔地や訪問不可能な場所を除き、当社へご依頼をいただいた日から起算して平均的に3～7営業日程度で、製品の設置場所へ訪問した上で、当社より適切な技術指導を受けた委託業者、または当社にて実施いたします。
可能な範囲でお客様のご都合に沿う日程の調整後、訪問、修理させていただきますが、ご希望の曜日や時間、修理箇所や部品の手配、訪問場所、修理までに必要な情報の不足、その他お客様によるご事情等で、ご希望の日時に訪問できない場合がございますので、ご了承いただけますと幸いです。

修理料金

◆ 下記内訳で構成されています。

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金
- 部品代：修理に使用した部品代
- 出張料：製品のある場所へ技術者は派遣する場合の料金

※保証期間中であっても、出張料金は離島および、離島に準ずる遠隔地などへの出張の際には実費を申し受けます。

※詳細につきましては、当社サポートセンターまでご連絡ください。

修理作業

修正作業は、お客様にご承諾を得たうえで、実行いたします。

修理につきましては、承諾いただいた料金を事前に申し受けしたうえで、実施いたしますので、予めご了承ください。

修理時のお願い

出張修理時には、作業スペースの確保をお願いいたします。

本製品を建物作り付けの内装設備に組み込んでご使用されている場合は、製品の取り出しと再取付は、お客様ご自身でご手配をお願いいたします。その際に掛かる設置費用などにつきましては、補償できませんので予めご了承ください。また、製品から内容物の取り出し、再収納につきましてもお客様にてお願いいたします。

保証（補償）対象外となるもの・症状について

以下に該当する不具合は、保証の対象外となります。万が一、開梱・設置時に不具合が発見された場合は、配送設置業者に申告し、販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。

- 不具合、天災地変などによる納品日の遅延、時間指定などは保証の対象外となります。
- 配送に関わる規定は、配送業者の規定、あるいは販売店の規定に準拠いたします。
- 指定納品日が必要になる際は、別途当社または、販売店などに予めご相談上、専用チャーター便などをご手配ください。

◆保証の対象外となること、部品、症状
●納品指定日、ご使用日 ●本体表面の傷、打痕、汚れ、割れなどの本体表面上にある納品時に発見可能な目視できる瑕疵 ●通常の仕様範囲内の庫内温度差や温度、または湿度など ●プラスチック臭・ウレタン臭などの製品の性質上のおい ●動作音、起動音、冷媒流音などの製品の機能上の動作音 ●ガラス表面・本体表面（外側の結露） ●水漏れ（製品の製造上のもは除外） ●中仕切板 ●蒸発皿（水受皿） ●ヒンジ、ヒンジキャップ、ヒンジカバー ●その他収納棚に関わる部品（ある場合） ●その他保証対象に記載されていない部品 ●製品内に保管されている内容物
◆設置完了後に保証対象外となるもの
●扉下がり ●本体の歪み、ガタツキ ●本体の軽微な使用上に影響しないガタツキ、ずれ ●パッキンと本体に隙間がある場合

保証規定・アフターサービスについて

内容物・製品以外の補償



製品に保管する内容物の損傷・劣化は一切補償できません。また、製品からの水漏れなどによる床・絨毯の汚れなども保証対象外となります。床などの保護ため、必ず本書に記載している内容を遵守してご使用ください。

保証期間中の修理

保証書をお手元にご用意いただき、お買い上げ年月日、品番などをご確認ください。保証規定と内容に基づき、修理させていただきます。

保証期間外、保証対象外の修理

お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。詳しくは、お買い上げの販売店、または当社サポートセンターまでご連絡ください。

保証期間と保証箇所

◆納品日より6か月のもの

ガラス・扉パッキン・扉下がり防止ローラー・鍵・棚・LEDライト・ボトルクレードル（＊ガラス破損は一度のみ）

◆納品日より1か年のもの

ファンモーター、制御基板、操作パネル（タッチパネル）、温調センサ、加温ヒーター、起動リレー、保護器、ガラス内部の結露などの通常使用、および、本取扱説明書内容を準拠して使用している場合の不具合。

◆納品日より3か年のもの

冷媒ガス漏れ、冷媒ガスつまり、圧縮機、毛細管、凝縮器、冷却器など圧縮機および、冷媒が通る配管部品などの通常使用、および、本取扱説明書内容を準拠して使用している場合の不具合。

製品交換で対応する場合

製品の交換は、本取扱説明書および、保証書に基づいて**当社判断**により、修理に代えて行われる場合がございます。

当社判断とは、当社による修理実施後に、お客様ご自宅などで修理不可能な不具合であると確認できた場合を指します。具体的には、次のような場合です。

- 冷媒循環回路の不具合により、正常に冷却できず、修理不可能と当社が判断した場合。
- その他の事情で修理不可能と判断した場合。（本取扱説明書に基づき、当社の判断により実施します。）
- 製品を交換する場合は、使用年数や、使用状況などに応じて、同等品と交換する場合がございます。あらかじめご了承ください。

保証対応・サービスができない場合

次のような場合、公平性の欠如、あるいは、法律的、倫理的、道徳的、その他の事情などにより、以後の保証サービス、その他すべての対応ができなくなる場合があります。

- 本書をお読みになられない場合
- 本書の内容に記載されていないことをご要望される場合
- 本書の内容や規定に反することをご要望をされる場合
- お客様のご要望が通常のサービス・業務に差し支えると当社が判断した場合
- 誹謗中傷などに該当すると判断される場合

補修用性能部品の保有期間

製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

製品特性と設置環境について

なお、使用部品の経年劣化や不具合は、次のような環境での使用の場合、通常より短期間で発生する場合があります。

- 換気が悪く、周囲温度が高くなりやすい室内での使用。
- 直射日光が当たる場所での使用。
- 生活環境温度外での使用。（32℃以上での環境での使用）
- 塩害を受けやすい場所での使用。
- 硫黄酸化物の影響を受けやすい場所での使用。
- 電源電圧変動の大きい場所や環境での使用。（その他家電用品とのタコ足配線は、電圧変動が大きくなり不具合の原因となることがあります。）

仕様一覧

型 式 名	MP170D525-RH-B	MP170D525-LH-B
製 品 カ ラ ー	ブラック	
ド ア 開 き	右開き	左開き
収 納 本 数（ワイン）	170本	
温 度 管 理 の 種 類	2温度	
設 定 温 度	上室／5℃～25℃ 下室／5℃～25℃	
外 形 寸 法	幅 630mm × 奥行728mm × 高さ1,876mm	
設 置 寸 法	幅 650mm × 奥行728mm × 高さ1,886mm※	
定 格 内 容 積	438L（上室 220L ／ 下室 218L）	
庫 内 灯	LED灯	
棚 の 仕 様	木製モール + ワイヤー棚	
電動機の定格消費電力	150 W	
電熱装置の定格消費電力	200 W	
年 間 消 費 電 力 量	223 kWh/年	
製 品 質 量	149 kg	

※設置寸法について

本製品は前面下部排気のため放熱スペースは不要（0mm設置可能）ですが、設置寸法は、搬入出や万が一のメンテナンス（引き出し作業）を考慮し、天面・左右側面にそれぞれ10mm以上のゆとりを加えた「推奨スペース」を記載しています。

● 消費電力量の取得環境／JIS C9801-3：2015

◆ この製品は、日本国内用に設計されています。日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY

◆ より快適にお使いいただけるよう、製品改良に随時努めております。そのため、予告なく一部仕様や部品の種類、メーカーが変わる場合がありますので、何卒ご了承ください。

警告

- 分解・修理・改造は絶対に行わないでください。発火、異常動作によりケガの原因となります。
- 霜取りを素早く行おうとして、電熱器などの機械的または人工的な装置をお使いになるのは絶対におやめください。
- 除霜スプレーはご使用にならないでください。身体に有害、またはプラスチックを傷める物質が含まれている場合があります。

注意事項

- 本製品はオープン価格です。価格については、販売店または弊社までお問合せください。
- 本製品は、改良などの理由により仕様・デザインなどを予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- 販売価格には、配送費、設備工事費、使用済み製品の引き取り費用、およびワインなどは含まれていません。
- 掲載製品の色については、印刷物のため多少実際の色と異なる場合があります。
- 機能面を損なう恐れがあります。無理な収納はおやめください。
- 製品の補修用性能部品（冷媒を含む）の保有期間は製造打ち切り後9年です。
- 表示されている収納本数は、標準的なボルドータイプでのボトル換算です。
- 電源は、単相100V 50/60Hz
- 換気の悪い場所、畳、じゅうたんなどの床面が不安定な場所、直射日光の当たる場所への設置は避けてください。
- 設置の際は、本体が必ず水平になるように設置してください。
- 製品を廃棄する場合は、家電リサイクル法に基づく、収集・運搬料金、再商品化料金（リサイクル料金）が必要となります。
- 年に1～2回程度、庫内、棚などを清掃してください。
- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- 製品の保証につきましては、取扱説明書および、保証書をご覧ください。
- ワインなど内容物、および、絨毯、床など製品以外のもの、時間などの保証は一切いたしません。

サポートセンターのご案内

お問い合わせの際には、必ず本取扱説明書をご準備ください。

専用フォームよりお問い合わせください

初回のお問い合わせは、専用フォームのみで承っております。

専用フォームはこちらから ▶▶▶



当社webサイトからもお問い合わせいただけます。 <https://sakura-wks.com/support/contact/>

- ☐ 「故障かなと思ったら」をご確認いただきましたか？
- ☐ 保証、アフターサービスの規定は事前ご理解いただいておりますか？
- ☐ 「安全上の注意」をよくお読みになりご理解いただいておりますでしょうか。

廃棄時にご注意ください

2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの保冷庫を廃棄処分する場合、収集・運搬料金を再商品化等の料金をお支払いいただき、耐商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが義務付けられています。

長年ご使用のワインセラーの点検を！



愛情点検

このような
症状は
ありませんか？

- 電源プラグ・コードが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げ臭いにおいがする
- 保冷庫底面にいつも水が溜まっている
- 保冷庫に触れるとビリビリと電気を感じる
- その他異常や故障がある

このような症状の時は、使用
を中止し、故障や事故防止
のため、必ず販売店か当社
サポートセンターまでご相談
ください。

電話窓口のご案内

お問い合わせに関するお電話の内容は、サービスの向上を目的とし、すべて録音させていただきます。予めご了承ください。

フリーダイヤル
0120-270-956 【コールセンター営業時間】 受付時間／月曜日～金曜日 10:00～17:00(土日祝、および当社休業時を除く)

● 営業時間外のお電話での対応はできません

当社営業時間内にお問い合わせができない場合は、上記のお問い合わせフォームまたは、サポートメール(support@sakura-wks.com)をご利用ください。

● 携帯電話、PHS、IP電話からのお問い合わせは、下記にお掛けください。 なお、この場合の通話料はお客様の負担となります。

携帯電話、PHS、IP電話からのお問い合わせ **03-6431-8611**